

# METHOD AND DEVICE FOR TRANSMISSION/RETRIEVAL OF COMMODITY INFORMATION

Publication number: JP1295363

Publication date: 1989-11-29

Inventor: YAMAMOTO EIZO

Applicant: YAMATO DENKI ENG KK

Classification:

- international: **H04B7/15; G06F17/30; G06Q10/00; G06Q30/00; H04H1/00; H04H1/02; H04B7/15; G06F17/30; G06Q10/00; G06Q30/00; H04H1/00; H04H1/02; (IPC1-7): G06F15/21; G06F15/40; H04B7/15**

- European: G06Q10/00E; G06Q30/00A

Application number: JP19880126692 19880523

Priority number(s): JP19880126692 19880523

Also published as:



EP0410036 (A1)

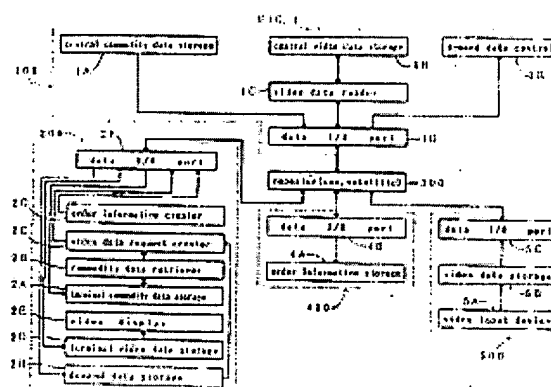
AU607344B (B1)

Report a data error here

## Abstract of JP1295363

**PURPOSE:** To quickly offer various types of commodity information to the demanders by transmitting various commodity data and the desired picture data to the user slave stations via a repeater mounted on a communication satellite.

**CONSTITUTION:** The commodity data required by the user slave stations 200 for retrieval of commodities are transmitted to these stations 200 from a master station 100 via a repeater 300. Then the commodities are retrieved out of the commodity data. Furthermore the picture data on the designated commodity is sent to the station 200 from the station 100 by a command given from the station 200. Thus the relevant picture is displayed at the station 200 and a user studies the pictures of retrieved commodities by comparison and selects his/her preferable commodities.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-295363

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)11月29日

G 06 F 15/21

3 3 0

7230-5B

3 1 0

Z-7230-5B

15/40

K-7313-5B

H 04 B 7/15

Z-7323-5K

審査請求 有

請求項の数 8 (全31頁)

⑮ 発明の名称 商品情報伝送・検索方法およびその装置

⑯ 特 願 昭63-126692

⑰ 出 願 昭63(1988)5月23日

⑱ 発 明 者 山 本 永 造 大阪府大阪市北区西天満5丁目1番3号 ヤマト電気エンジニアリング株式会社内

⑲ 出 願 人 ヤマト電気エンジニアリング株式会社 大阪府大阪市北区西天満5丁目1番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 杉 谷 勉

#### 明 開 書

##### 1. 発明の名称

商品情報伝送・検索方法およびその装置

##### 2. 特許請求の範囲

(1) 少なくとも一つの親局から複数の利用者子局へ通信衛星に搭載された中継器を介して商品データを伝送し、

この商品データを各利用者子局が格納しておき、各利用者子局では格納された商品データの中から任意の商品データを検索し、

検索によって絞り込まれた商品に関する画像要求指令を利用者子局から親局へ伝送し、

親局は、利用者子局から要求のあった画像データを、格納された画像データの中から読み出し、その画像データを、前記画像要求指令を伝送してきた利用者子局に前記中継器を介して伝送し、

当該利用者子局では親局から伝送されてきた画像データに基づいて、検索された商品の画像を表示するようにしたことを特徴とする商品情報伝送・検索方法。

(2) 請求項(1)に記載の商品情報伝送・検索方法において、

利用者子局の非営業時間帯に、親局から各利用者子局へ通信衛星に搭載された中継器を介して商品データを伝送することにより、各利用者子局に格納されている商品データをいっせいに更新する商品情報伝送・検索方法。

(3) 少なくとも一つの親局と、複数の利用者子局と、通信衛星に搭載された中継器とからなる商品情報伝送・検索装置であって、

親局は、

各利用者子局に伝送すべき商品データを格納する中央商品データ格納手段と、

商品の画像データを格納する中央画像データ格納手段と、

利用者子局から要求のあった商品に関する画像データを前記中央画像データ格納手段の中から読み出す画像データ読み出し手段と、

前記中央商品データ格納手段に格納された商品データや前記画像データ読み出し手段によって読

み出された画像データなどのデータを前記中継器を介して利用者子局へ送信するとともに、利用者子局からの画像要求指令などのデータを受信するデータ送・受信手段とを備え、

利用者子局は、

親局から送信されてきた商品データを格納する端末商品データ格納手段と、

前記端末商品データ格納手段に格納された商品データの中から任意の商品データを検索する商品データ検索手段と、

検索によって絞り込まれた商品に関する画像要求指令を作成する画像要求指令作成手段と、

親局から伝送されてきた画像データを所定の画像枚数分だけ格納する端末画像データ格納手段と、

前記端末画像データ格納手段に格納された画像データに基づき、商品の画像を適宜に表示する画像表示手段と、

前記中継器を介して親局へ画像要求指令などを送信するとともに、前記中継器を介して親局から伝送される商品データや画像データなどを受信す

において、

利用者子局は、

通信衛星に搭載された中継器を介して、親局から伝送されてくる売れ筋データを格納する売れ筋データ格納手段を備え、

かつ、画像要求指令作成手段は、商品データ検索手段によって検索された商品の数が、端末画像データ格納手段に格納できる最大画像枚数を越える場合に、前記売れ筋データ格納手段に格納された売れ筋データを参照して、前記検索された商品群の中から発注頻度の高い商品を前記最大画像枚数に等しい数だけ選択し、選択された商品について画像データを親局に要求するものである商品情報伝送・検索装置。

(7) 請求項(5)に記載の商品情報伝送・検索装置において、

通信衛星に搭載された中継器を介して親局と結ばれる少なくとも一つの商品供給者子局を設け、

この商品供給者子局は、

商品受注情報を格納する商品受注情報格納手段

るデータ送・受信手段と

を備えた商品情報伝送・検索装置。

(4) 請求項(3)に記載の商品情報伝送・検索装置において、

中央画像データ格納手段は複数枚の光ディスクによって構成されており、これらの光ディスクに画像データがランダムに格納されている商品情報伝送・検索装置。

(5) 請求項(3)に記載の商品情報伝送・検索装置において、

利用者子局は、利用者が最終的に選択した商品を発注するための情報を、通信衛星に搭載された中継器を介して親局に伝送するための商品発注情報作成手段を備え、

親局は、利用者子局から伝送されてきた商品発注情報をもとに、各商品ごとの発注頻度に関するデータ(売れ筋データ)を解析・記録する売れ筋データ管理手段を備えたものである商品情報伝送・検索装置。

(6) 請求項(5)に記載の商品情報伝送・検索装置

と、

親局との間でデータ伝送を行うデータ送・受信手段と

を備えたものである商品情報伝送・検索装置。

(8) 請求項(3)に記載の商品情報伝送・検索装置において、

通信衛星に搭載された中継器を介して親局と結ばれる少なくとも一つの画像データ作成子局を設け、

この画像データ作成子局は、

商品の画像データを作成する画像入力手段と、

前記画像入力手段によって作成された画像データを格納する作成画像データ格納手段と、

親局からの画像データ要求を受信し、この画像データ要求に基づき、前記作成画像データ格納手段に蓄積された画像データを親局に伝送するデータ送・受信手段と

を備えたものである商品情報伝送・検索装置。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は、通信衛星に搭載された中継器を介して、親局から利用者子局へ多数の商品に関する情報を伝送し、その商品情報に基づいて、利用者子局側の利用者が希望する商品を検索する商品情報伝送・検索方法およびその装置に関する。

#### <従来の技術>

従来、商品情報を需要者に提供し、この商品情報をもとに需要者が希望する商品を選択する手段としては次のようなものがある。

(1) その一つに、いわゆるカタログ販売といわれるものがある。

これは、商品供給者が個々に製作した商品カタログを需要者に提供し、需要者はそのカタログの中から希望する商品情報を選択し、その商品名や商品コードを電話や郵便などによって商品供給者に知らせて、その商品を手入するというものである。

(2) また、テレビ放送を利用して商品情報を提供する、いわゆるテレビショッピングも広く行われている。これは、商品供給者が適当に選択した

数種の商品に関する情報(文字情報や画像)をテレビ電波によって各家庭に伝送し、需要者がその商品を購入したいと思う場合に、その商品名や商品コードを電話や郵便などによって商品供給者に知らせて、その商品を手入するというものである。

(3) さらに、最近では、光ディスクを利用した商品検索装置も提案されている。この装置は、センター局と複数の子局とをケーブルを利用した回線で結び、前記各子局に商品検索装置をそれぞれ設置している。商品検索装置には光ディスクが内装されており、この光ディスクには、商品検索に必要なデータや、各商品の画像データが格納されている。利用者は、子局の商品検索装置を操作することによって、希望の商品を検索し、その商品の画像を表示装置で見ることができるようになっている。

#### <発明が解決しようとする課題>

しかしながら、このような従来例の場合には、次のような問題点がある。

(1) カatalogによって商品情報を提供する場合

は、多数の商品情報を掲載したカタログを多数の需要者に配付する必要があるから、商品供給者はカタログ製作に要する膨大な費用を投資しなければならないという問題点がある。その結果、カタログを提供する需要者を一定の範囲内(例えば、お得意先)に限定せざるを得ず、商品情報の提供を受ける需要者が限定されてしまう。また、前述の理由から、カタログを頻繁に作り変えることができないので、例えば、季節物や流行商品などの新商品に関する情報を需要者にタイムリーに提供することができないという問題点もある。

一方、需要者にとっては、多数の商品供給者から提供されるカタログの中から、自分が希望する商品情報を検索するのに長時間を要するという煩わしさがああり、結局、商品カタログが充分利用されなくなる。また、多数のカタログを個々の需要者が保管するのも一般的には困難である。

(2) テレビショッピングによる場合は、商品情報を需要者に早く提供することができるという点では、カタログ販売に比べて優れているが、限ら

れた時間内に商品情報を放映する必要があるため、情報提供できる商品の数や、個々の情報量にも限界がある。そのため、需要者が購入したい商品が放映されないことも多く、また、複数商品を比較検討することができないという問題点もある。

(3) 光ディスクに商品データや画像データを格納して検索によって希望の商品を選び出すシステムは、希望する商品を短時間の内に探し出せる点で、他の二つの手段に比較して優れている。しかし、従来、この種のシステムでは、多くの商品を光ディスクに登録しようとすると、特に、画像データの量が膨大になるため、子局側に多くの光ディスクを設置しなければならず、子局側検索装置が大型化し、高価なものになる。そのため、従来のこの種の装置では、限定された商品群(例えば、ギフト商品など)を検索の対象とせざるを得ないという問題点がある。

また、この装置によれば、商品データや画像データを更新する場合、多数の子局側検索装置にそれぞれ備えられた光ディスクを、その都度取り換

える必要があるから、商品データなどの更新に手間がかかり、また、光ディスク交換に要する費用も嵩むという問題点もある。

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであって、多数の商品情報を多数の需要者に迅速に提供することができ、また、複数商品を比較検討しながら好みの商品を選択することができ、さらには、商品情報の更新を容易かつ迅速に行うことができる商品情報伝送・検索方法およびその装置を提供することを主たる目的としている。

<課題を解決するための手段>

本発明は、このような目的を達成するために、次のような構成をとる。

(1) 本発明に係る第1の商品情報伝送・検索方法は、

少なくとも一つの親局から複数個の利用者子局へ通信衛星に搭載された中継器を介して商品データを伝送し、

この商品データを各利用者子局が格納しておき、各利用者子局では格納された商品データの中か

図の便宜上、後述する第1ないし第6の商品情報伝送・検索装置の各構成を全て含んだ形態を表わしている。

(3) 本発明に係る第1の商品情報伝送・検索装置は、

少なくとも一つの親局100と、複数個の利用者子局200（ただし、第1図では、一つの利用者子局200を代表して示している）と、通信衛星に搭載された中継器300とからなる商品情報伝送・検索装置であって、

親局100は、

各利用者子局200に伝送すべき商品データを格納する中央商品データ格納手段1Aと、

商品の画像データを格納する中央画像データ格納手段1Bと、

利用者子局200から要求のあった商品に関する画像データを前記中央画像データ格納手段1Bの中から読み出す画像データ読み出し手段1Cと、

前記中央商品データ格納手段1Aに格納された商品データや前記画像データ読み出し手段1Cに

ら任意の商品データを検索し、

検索によって絞り込まれた商品に関する画像要求指令を利用者子局から親局へ伝送し、

親局は、利用者子局から要求のあった画像データを、格納された画像データの中から読み出し、その画像データを、前記画像要求指令を伝送してきた利用者子局に前記中継器を介して伝送し、

当該利用者子局では親局から伝送されてきた画像データに基づいて、検索された商品の画像を表示するようにしたものである。

(2) 本発明に係る第2の商品情報伝送・検索方法は、

前記第1の商品情報伝送・検索方法において、

利用者子局の非営業時間帯に、親局から各利用者子局へ通信衛星に搭載された中継器を介して商品データを伝送することにより、各利用者子局に格納されている商品データをいっせいに更新するものである。

次に、本発明に係る商品情報伝送・検索装置を第1図を参照して説明する。なお、第1図は、作

によって読み出された画像データなどのデータを前記中継器300を介して利用者子局200へ送信するとともに、利用者子局300からの画像要求指令などのデータを受信するデータ送・受信手段1Dとを備え、

利用者子局200は、

親局100から送信されてきた商品データを格納する端末商品データ格納手段2Aと、

前記端末商品データ格納手段2Aに格納された商品データの中から任意の商品データを検索する商品データ検索手段2Bと、

検索によって絞り込まれた商品に関する画像要求指令を作成する画像要求指令作成手段2Cと、

親局100から伝送されてきた画像データを所定の画像枚数分だけ格納する端末画像データ格納手段2Dと、

前記端末画像データ格納手段2Dに格納された画像データに基づき、商品の画像を適宜に表示する画像表示手段2Eと、

前記中継器300を介して親局100へ画像要求指

令などを送信するとともに、前記中継器300を介して親局100から伝送される商品データや画像データなどを受信するデータ送・受信手段2Fとを備えたものである。

(4) 本発明に係る第2の商品情報伝送・検索装置は、前記第1の商品情報伝送・検索装置の親局100に備えられた中央画像データ格納手段1Bを複数枚の光ディスクによって構成し、これらの光ディスクに画像データがランダムに格納されているものである。

(5) 本発明に係る第3の商品情報伝送・検索装置は、前記第1の商品情報伝送・検索装置の利用者子局200に、利用者が最終的に選択した商品を発注するための情報を、中継器300を介して親局100に伝送するための商品発注情報作成手段2Cを備え、

親局100に、利用者子局200から伝送されてきた商品発注情報をもとに、各商品ごとの発注頻度に関するデータ(売れ筋データ)を解析・記録する売れ筋データ管理手段1Eを備えたものである。

4Aと、

親局100との間でデータ伝送を行うデータ送・受信手段4Bとを備えたものである。

(8) 本発明に係る第5の商品情報伝送・検索装置は、前記第1の商品情報伝送・検索装置に、中継器300を介して親局100と結ばれる少なくとも一つの画像データ作成子局500を設け、

この画像データ作成子局500は、

商品の画像データを作成する画像入力手段5Aと、

前記画像入力手段5Aによって作成された画像データを格納する作成画像データ格納手段5Bと、

親局100からの画像データ要求を受信し、この画像データ要求に基づき、前記作成画像データ格納手段5Bに蓄積された画像データを親局100に伝送するデータ送・受信手段5Cと

を備えたものである。

<作用>

(1) 本発明に係る第1の商品情報伝送・検索方

(6) 本発明に係る第4の商品情報伝送・検索装置は、前記第3の商品情報伝送・検索装置の利用者子局200に、中継器300を介して、親局100から伝送されてくる売れ筋データを格納する売れ筋データ格納手段2Hを備え、

かつ、画像要求指令作成手段2Cは、商品データ検索手段2Bによって検索された商品の数が、端末画像データ格納手段2Dに格納できる最大画像枚数を越える場合に、前記売れ筋データ格納手段2Hに格納された売れ筋データを参照して、前記検索された商品の中から発注頻度の高い商品を前記最大画像枚数に等しい数だけ選択し、選択された商品について画像データを親局100に要求するものである。

(7) 本発明に係る第5の商品情報伝送・検索装置は、前記第3の商品情報伝送・検索装置に、中継器300を介して親局100と結ばれる少なくとも一つの商品供給者子局400を設け、

この商品供給者子局400は、

商品受注情報を格納する商品受注情報格納手段

法の作用は次の通りである。

利用者子局側で商品を検索するのに必要な商品データは、親局から中継器を介して各利用者子局に伝送され、その商品データの中から商品の検索が行われる。また、利用者子局側からの指令に基づき、指定商品の画像データを親局から利用者子局に伝送し、利用者子局ではその画像を表示する。利用者は検索された商品の画像を比較検討しながら好みの商品を選択する。

(2) 本発明に係る第2の商品情報伝送・検索方法の作用は次の通りである。

親局に格納されている商品データに追加や変更などがあった場合には、利用者子局の非営業時間、即ち、利用者子局において利用者による商品検索が行われない時間帯に、通信衛星に搭載された中継器を介して、所要の商品データを各利用者子局に伝送することにより、各利用者子局の商品データが更新される。

(3) 本発明に係る第1の商品情報伝送・検索装置の作用は次の通りである。

中央商品データ格納手段1Aに格納された商品データは、データ送・受信手段1Dおよび中継器300を介して各利用者子局200に伝送される。各利用者子局200では、伝送された商品データはそれぞれの端末商品データ格納手段2Aに格納される。

利用者子局200の利用者は、商品データ検索手段2Bを操作することによって、端末商品データ格納手段2Aに格納された商品データの中から希望する商品データを検索する。検索によってある程度、商品が絞り込まれた場合で、利用者が商品の画像を見たいときには、画像要求指令作成手段2Cを操作する。これにより画像要求指令作成手段2Cで、前記商品の画像要求指令が作成され、この画像要求指令がデータ送・受信手段2Fおよび中継器300を介して親局100に伝送される。

親局100では、画像データ読み出し手段1Cが、伝送された画像要求指令に基づき、指定された商品の画像データを中央画像データ格納手段1Bに格納された画像データの中から読み出す。この画

像データはデータ送・受信手段1Dおよび中継器300を介して、画像要求指令を出した利用者子局200に伝送される。

前記所定の利用者子局200に伝送された画像データは、その利用者子局200に設けられた端末画像データ格納手段2Dに一時的に格納されて、画像表示手段2Eに適宜に表示される。

その利用者子局200の利用者は、画像表示手段2Eに映し出された各商品の画像を見ながら、検索された商品の中から、好みの商品を選択する。

(4) 本発明に係る第2の商品情報伝送・検索装置の作用は次の通りである。

複数枚の光ディスクには、商品の分類などに無関係に各商品の画像データがランダムに格納されているから、画像データ要求指令に基づいて、複数個の商品の画像データを読み出す場合には、複数枚の光ディスクそれぞれから並列的に画像データが読み出される。

(5) 本発明に係る第3の商品情報伝送・検索装置の作用は次の通りである。

置の作用は次の通りである。

利用者子局200からの商品発注情報が親局100を介して商品供給者子局400に伝送されると、その情報が商品受注情報格納手段4Aに格納される。

(6) 本発明に係る第6の商品情報伝送・検索装置の作用は次の通りである。

商品供給者などから入手した各商品の原画像が、画像入力手段5Aによって画像データに変換され、この画像データが作成画像データ格納手段5Bに格納される。作成画像データ格納手段5Bに格納された画像データは、親局100からの画像データ要求に基づいて、親局100に伝送されて、親局100の中央画像データ格納手段1Bに格納される。

#### <実施例>

以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

第2図は本発明の一実施例に係る商品情報伝送・検索装置の全体構成を示した概略ブロック図である。

本実施例に係る商品情報伝送・検索装置は、親

各利用者子局200において、商品発注情報作成手段2Gが操作されると、その商品の発注情報が親局100に伝送される。親局100は、売れ筋データ管理手段1Eによって、各商品ごとの発注頻度に関する売れ筋データを解析・記録する。

(6) 本発明に係る第4の商品情報伝送・検索装置の作用は次の通りである。

親局100は各利用者子局200へ売れ筋データを伝送し、この売れ筋データは各利用者子局200の売れ筋データ格納手段2Hに格納される。一方、利用者子局200において、検索された商品の数が端末画像データ格納手段2Dに格納できる最大画像枚数を越える場合、検索された全ての商品についての画像データを端末画像データ格納手段2Dに取り込むことができないので、売れ筋データ格納手段2Hに格納された売れ筋データを参照し、発注頻度の高い商品を前記最大画像枚数に等しい数だけ選択し、それらの商品について画像データを親局100に要求する。

(7) 本発明に係る第5の商品情報伝送・検索装

局100と、利用者子局200と、商品供給者子局400と、画像データ作成子局500と、親局100と各子局を回線で結ぶ通信衛星に搭載された中継器300とから構成されている。

親局100は、利用者子局200での商品検索などに使用される各種の商品データや画像データなどを管理して、必要により各子局との間でデータの授受を行うものである。本実施例では一つの親局100が設置されているが、複数局の親局100が設置されてもよい。

利用者子局200は、当該局にファイルした商品データの中から、利用者が希望する商品を検索・選択し、商品発注指令などを親局100に対して行うものである。利用者子局200は、例えば、喫茶店、美容院、病院などのように、多数の人が一定時間滞留するような適宜な場所に設置されるのが好ましい。利用者子局200は他の局に比較して、多数設置されるが、その数は特に限定されるものではない。

商品供給者子局400は、親局100を介して商品

回線で、親局100から利用者子局200への一方向のデータ伝送を行う。

また、図中、破線で示したデータ回線DCは、親局100と各子局と間で種々のデータ伝送を行うための回線で、双方向のデータ伝送を行う。

データ伝送は、そのデータの種類に応じてオンラインあるいはバッチ処理される。オンラインは、子局側が親局100から直ぐに返事をもらいたいような情報伝送に利用され、子局のどこからでも任意に通信できるように構成されている。また、バッチ処理は、ある程度まとまった形で伝送すれば足りるような情報伝送に利用され、親局100から各子局をポーリングして、必要な一群のデータがあれば、それを親局100へ一括伝送するように構成されている。

次に、第3図ないし第7図を参照して上述した各局の構成を具体的に説明する。

まず、第3図を参照して親局100の構成を説明する。

親局100は大きく分けて次のような四つのデー

発注情報などを受け取り、発注された商品の手配などを行う子局であり、その設置数は任意である。

画像データ作成子局500は、親局100に格納される画像データや商品に関する説明文を、親局100に代わって作成し、作成したデータを親局100に伝送するための子局であり、その設置数は任意である。

中継器300は、親局100と各子局との間のデータ伝送を中継するもので、画像回線用の中継器3Aと、データ回線用の中継器3Bの二つ中継器から構成されている。中継器の設置数は特に限定されず、画像回線とその他のデータ回線を一つの回線で兼用してもよい。このような中継器300を通信衛星に搭載して利用することにより、各子局を広い範囲に渡って任意に設置することができるから本システムの構築が容易になるとともに、多数の子局に同時にデータ通信できる、いわゆる同報性が確保される。

図中、実線で示した画像回線VCは、親局100と各利用者子局200とを結ぶ画像データ伝送用の

タ管理部を備えている。

第1は、商品検索のために利用者子局200に伝送される多数の商品データを管理する商品データ管理部110である。この商品データ管理部110は、商品データを格納する商品データファイル111、前記商品データの蓄積、更新、削除などを制御する商品データ管理用コンピュータ113、商品データ入力用の複数の端末器114などから構成されている。なお、上述した商品データファイル111は、第1図に示した中央商品データ格納手段1Aに対応している。

第2は、利用者子局200からの要求により、その利用者子局200に伝送する商品の画像データや説明文データを管理する画像データ管理部120である。この画像データ管理部120には、第1図に示した中央画像データ格納手段1Bに対応する画像ファイル121と、画像データ読み出し手段1Cに対応する画像データ管理用コンピュータ122がある。本実施例では、画像ファイル121は複数枚の光ディスクで構成されている。勿論、画像ファ



イル121は、磁気ディスクのようなその他の画像ファイルであってもよい。

画像データ作成子局500から伝送されてきたデジタル画像データは、一旦、画像データファイル123に格納される。そして、これらの画像データはデジタル／アナログ(D/A)変換器124によって周波数変調されたアナログ信号に変換され、光ディスク登録用コンソール125の制御によって画像ファイル121の各光ディスクにランダムに格納される。

ここで、画像データをランダムに格納するとは、利用者子局200から同時に要求される可能性の高い商品群についての画像データは、同じ光ディスクに格納しないようにすることを意味する。通常、光ディスクの中から一枚分の画像データを読み出すのに、1秒程度の時間を要する。そのため、例えば、利用者子局200から、検索された5点の婦人服について、それぞれ画像データが要求された場合、仮に、婦人服の画像データを全て同じ光ディスクに格納しておくと、5点の商品の画像デー

タを各光ディスクから読み出された画像データは、各光ディスクに対応したフレームメモリに一旦格納された後、この画像送信バッファ127から順次出力される。

また、画像データ管理部120には、画像データ作成子局500から伝送されてきた商品説明文データを格納する商品説明文データファイル128がある。各商品の説明文データは、上述した画像データと同様に、それぞれの商品コードに対応付けられて格納されている。画像データ管理用コンピュータ122は、利用者子局200からの画像データ要求指令に基づいて画像データを読み出すとともに、その商品の説明文データを商品説明文データファイル128から読み出す。

第3は、第1図に示した売れ筋データ管理手段1Eに対応する売れ筋データ管理部130である。売れ筋データ管理部130は、各利用者子局200から伝送されてきた商品発注情報をもとに、各商品の発注頻度などを解析・統計する売れ筋データ管理用コンピュータ131と、解析された売れ筋デー

タを読み出すのに5秒の待ち時間が必要となり、利用者子局200への画像データの伝送が遅くなる。そこで、上述のように画像データを各光ディスクにランダムに格納しておけば、それぞれ個別の光ディスクから並列的に画像データを読み出すことができるので、読み出し時間の短縮を図ることができる。

各商品の画像データの格納場所を示すデータは、光ディスク登録用コンソール125に関連して設けられた画像データ分類データファイル126に格納される。画像データ管理用コンピュータ122は、画像データを要求した利用者子局200から伝送された各商品コードに基づき、画像データ分類データファイル126の中から、各商品の分類データを読み出し、この分類データをもとに必要な画像データを画像ファイル121から読み出す。

画像データ管理部120には、画像ファイル121の各光ディスクに対応する複数のフレームメモリから構成された画像送信バッファ127がある。画像データ管理用コンピュータ122の制御によ

って各光ディスクから読み出された画像データは、各光ディスクに対応したフレームメモリに一旦格納された後、この画像送信バッファ127から順次出力される。

また、画像データ管理部120には、画像データ作成子局500から伝送されてきた商品説明文データを格納する商品説明文データファイル128がある。各商品の説明文データは、上述した画像データと同様に、それぞれの商品コードに対応付けられて格納されている。画像データ管理用コンピュータ122は、利用者子局200からの画像データ要求指令に基づいて画像データを読み出すとともに、その商品の説明文データを商品説明文データファイル128から読み出す。

第4は、受発注データ管理部140である。受発注データ管理部140は、利用者子局200からイメージ伝送されてくる発注伝票をもとに、商品受注データを再入力するデータ入力端末器141と、利用者子局200からイメージ伝送されてくるデータを一旦格納する発注ファイルや前記データ入力端末器141によって再入力された受注データを格納する受注ファイルなどを含むデータファイル142、前記データファイル142へのデータ書き込みや読み出しを制御するデータファイル管理用コンピ

ータ143 などから構成されている。

上述した各管理部110,120,130,140 は、データ送・受信フロントエンドコンピュータ150 に接続されている。このコンピュータ150 は、各子局から伝送されてきたデータを解析して、そのデータを上述した何れの管理部に割り振るかを決定する。

具体的には、第8図(a)に示すように、各子局から親局100 に伝送されてくるデータのフォーマットは、データ識別用のヘッダー領域Hと、本来のデータ内容を含むテキスト領域Tとから構成されている。ヘッダー領域Hは、同図(b)に示すように、データ伝送してきた子局を識別するための受信先コードRT、親局100 の処理セクション(管理部)を示す処理セクションコードS、データ処理の内容を指示する処理コードC、伝送されるテキストのデータ量を示すバイト数TBとから構成されている。

フロントエンドコンピュータ150 は、ヘッダー領域Hの処理セクションコードSを確認して、そのデータを所定の管理部に割り振る。各管理部の

管理用コンピュータは、割り振られたデータ中の処理コードに応じた処理を行う。

また、フロントエンドコンピュータ150 は、子局に伝送すべきデータ(例えば、商品データや商品説明文データなど)のフォーマットを第8図と同様な形態で作成し、伝送すべき子局のコードを付してデータ伝送する。画像データ要求のように、特定の利用者子局からの要求に基づくデータ伝送の場合には、その子局から伝送されたデータのヘッダー領域Hにある受信先コードRTを記憶しておき、このコードを送信データに付してその利用者子局にデータ伝送を行う。

画像データ管理部120 で読み出された画像データおよびフロントエンドコンピュータ150 でフォーマットが作成された商品説明文データなどは、データ多重・変調装置160 で多重・変調されるとともに、データスクランブルされた後、データ送・受信器170 に与えられる。

データ送・受信器170 は、各子局との間でデータの送・受信を行うもので、第1図に示したデー

タ送・受信手段1Dに対応している。

次に、第4図および第5図を参照して利用者子局200 について説明する。

第4図は利用者子局200 の概略ブロック図、第5図は利用者子局200 に設置される商品検索用の操作卓の概略外観斜視図である。

利用者子局200 は、親局100 から伝送されてくる商品データを格納するための商品データファイル210 や売れ筋データを格納するための売れ筋データファイル211などを備えている。商品データファイル210 は、第1図において説明した端末商品データ格納手段2Aに対応し、売れ筋データファイル211 は売れ筋データ格納手段2Hに対応している。

データファイル210,211に関連して、商品検索や画像要求などを行うための検索端末装置212 が設けられている。検索端末装置212 は、第5図に示すように、商品を検索するために利用者が操作するタッチスクリーン213を含む。検索端末装置212 は第1図において示した商品データ検索手段

2B、画像要求指令作成手段2Cに対応している。

プリンタ214 は利用者が選択した商品の商品名や商品番号などを印字出力するためのものである。プリントアウトした発注票は、適宜な発注伝票に書き換えられて、この発注伝票がイメージスキャナ216によってイメージデータに変換されて親局100 に伝送されるようになっている。このイメージスキャナ216 は、第1図に示した商品発注情報作成手段2Gに対応している。なお、利用者が検索端末装置212 を操作することによって発注情報を作成し、これを直接、親局100 に伝送するように商品発注情報作成手段2Gを構成することも可能であるが、本実施例では誤発注やイタズラを防止するために、発注伝票をイメージ伝送するようになっている。

フロントエンドコンピュータ218 は、親局100へ伝送するデータのフォーマット作成(第8図参照)や親局100 から伝送されたきたデータを、利用者子局200 の各部に分配するものである。

データ復号器222 は、データ送・受信器220 で

受信された画像データや画像説明文データを復号するものである。親局100でスクランブルされて伝送されてくる画像データなどは、そのデータとともに伝送されてくる受信先コードに対応する利用者子局200のみが、正しく復号することができる。復号された画像データおよび画像説明文データは、ビデオコントローラ224によって制御される画像バッファメモリ226に格納される。画像バッファメモリ226は、最大32枚分の画像データを記憶できる画像データ用のフレームメモリ228と、各画像データに対応した説明文データを記憶する説明文データ用のフレームメモリ230とから構成されている。勿論、商品画像データの最大格納枚数は32枚に限定されず、任意に設定することができる。なお、この画像バッファメモリ226は、第1図に示した端末画像データ格納手段2Dに対応している。

画像データおよび商品説明文データには、その商品のコードが付されて親局100から伝送されてくる。フロントエンドコンピュータ218は、それ

ぞれの商品コードを、画像バッファメモリ226における画像データなどの格納場所と対応させて記憶する。検索端末装置212から所定商品の画像表示指令があった場合、フロントエンドコンピュータ218はその商品コードに基づき、所定のデータ格納場所をビデオコントローラ224に指令する。ビデオコントローラ224は、画像バッファメモリ226の指定された格納場所からその商品の画像データや商品説明文データを読み出して、商品画像や説明文をマルチスキャンモニタ232に出力する。

マルチスキャンモニタ232は、四つの商品の画像を一画面上に表示する、いわゆる4分割表示が可能で、利用者が4点の商品の画像を比較検討しながら、好みの商品を選択できるようになっている。また、必要により、一つの商品画像を1画面に拡大表示をできるようになっている。このマルチスキャンモニタ232は、第1図における画像表示手段2Eに対応している。

次に、第6図を参照して商品供給者子局400について説明する。

商品供給者子局400は、商品受注ファイルや商品新規登録ファイルなどを含んだデータファイル410と、このデータファイル410を管理するデータファイル管理用コンピュータ412と、受信されたデータの分配や送信用データのフォーマットを作成するフロントエンドコンピュータ414と、データ送・受信器416などから構成されている。データファイル410は、第1図に示した商品受注情報格納手段4Aに対応している。

次に、第7図を参照して画像データ作成子局500について説明する。

画像データ作成子局500は、例えば、各商品供給者から郵送されてきた商品の原画像をカメラで撮影して画像データに変換する画像入力装置510と、商品の説明文データを入力するための説明文データ入力端末器512を備えている。画像入力装置510は、第1図における画像入力手段5Aに対応している。

画像入力装置510で作成された画像データは画像データファイル514に、説明文データ入力端末

器512から入力された説明文データは説明文データファイル516に、それぞれ格納される。画像データファイル514は、第1図における作成画像データ格納手段5Bに対応している。

また、画像データ作成子局500は、画像データや説明文データの各ファイルへの書き込みなどを制御するファイル管理用コンピュータ518、送信データのフォーマット作成などを行うフロントエンドコンピュータ520およびデータ送・受信器522などを備えている。

なお、画像データ作成子局500は、必ずしも独立した子局として設置する必要はなく、例えば、商品供給者子局400に画像入力装置や説明文データ入力端末器を備えておき、その商品供給者子局400から親局100に画像データなどを伝送するように構成してもよい。

次に、本実施例に係る装置の動作について説明する。

(A) 第9図を参照して、利用者子局200の検索端末装置212の動作および、これに関連した親

局100の動作について説明する。

第14図(a)に示すように、利用者子局200の検索端末装置212のタッチスクリーン213には、初期画面として、①伝言板、②案内板、③買い物の三つのメニューが映し出される。伝言板は、タッチスクリーン213上で、利用者が任意の文字を手書きすることによって、その文字が検索端末装置212内で記憶され、他の利用者がその記憶された文字を呼び出すことによって利用者間の連絡用として用いられる。案内板は、その利用者子局200が設置された営業店などの広告用として利用される。伝言板または案内板が選択された場合には、それぞれに応じた処理が行われる(ステップS101～ステップS106)。

買い物が選択された場合には、ステップS107からステップS108に進み、商品検索処理が行われる。この商品検索処理により、利用者子局200の商品データファイル210に格納された多数の商品データの中から利用者が指定した条件に該当した一つまたは複数個の商品が検索される。この検

ソックS201)。

該当商品群の画像データなどが画像バッファメモリ226に格納されていない場合には、これらの商品群の画像データなどを親局100に要求する指令を作成し(ステップS202)、これを親局100にオンラインで送信する。具体的には、第8図において説明したように、親局100に伝送するデータのヘッダー領域Hに、当該利用者子局200のコード番号、親局100の該当処理セクション(この場合は画像データ管理部120)のコード、画像出力処理を要求する処理コードおよびテキスト文のバイト数を設定し、テキスト領域Tには画像を要求する商品群の各商品コードを設定する。

画像要求指令を受けた親局100は、この画像要求データを画像データ管理部120に分配する。画像データ管理部120の画像データ管理用コンピュータ122は、要求された画像データが画像送信バッファ127にあるかどうかを確認し(ステップS301)、画像データがある場合には、要求された商品の説明文データを商品説明文データファイル

索処理については、後に詳しく説明する。

検索の終了が確認されると(ステップS109)、検索された商品の数が、画像バッファメモリ226に格納できる最大画像枚数(この実施例では32枚)以下であるかどうかを確認する(ステップS110)。検索された商品群の数が32点を越える場合には、売れ筋データファイル211に格納された売れ筋データを参照して、前記検索された商品群の中から、発注頻度の高い順に32点の商品群を選び出す(ステップS111)。

検索された商品群の数が32点以下である場合、あるいはステップS111で32点の商品群が選び出された後は、ステップS112に進み、これらの該当商品群の商品コードをフロントエンドコンピュータ218に通知する(ステップS112)。

フロントエンドコンピュータ218は、通知された商品群の画像データや説明文データが画像バッファメモリ226に格納されているかどうかを、画像バッファメモリ226の画像データに対応付けて記憶している商品コードによって確認する(ステ

ップS302)の中から読み出し(ステップS303)、画像送信バッファ127内の所定の画像データと、これに対応した説明文データとを送信処理し(ステップS304)、画像要求した利用者子局200に送信する。画像送信バッファ127に画像データがない場合には、画像データ分類データファイル126を参照して画像ファイル121の中から要求された商品群の画像データを高速サーチし、これらの画像データを画像送信バッファ127にセットし、(ステップS302)、上述したステップS303,304に進んで画像データなどの送信を行う。

画像要求をした利用者子局200に画像データおよび説明文データが伝送されると、これらのデータは画像バッファメモリ226内の該当フレームメモリ228,230にそれぞれ格納される(ステップS203)。

前記ステップS201において、当該利用者子局200の画像バッファメモリ226に該当商品群の画像データがあると判断された場合、あるいは、親局100から伝送された所要の画像データなどが画

像バッファメモリ226 にセットされると、ステップS113に進み、画像バッファメモリ226 から該当商品の画像データまたは商品説明文データの読み出し処理が行われる。読み出された画像データは、四つずつ順にマルチスキャンモニタ232 に分割表示される(ステップS114)。

マルチスキャンモニタ232 に表示された商品の画像を見ながら、利用者による商品選択が行われる(ステップS115)。このステップS115で行われる商品選択処理については後述する。そして、商品の選択が終了したかどうかを判断し(ステップS116)、商品が選択されるまで、上述の商品画像の表示が順に行われる。

商品の選択が終了すると選択された商品を発注するかどうかを判断し(ステップS117)、発注する場合には、その商品の商品番号や商品名などが印字された発注票をプリンタ214 から出力する(ステップS118)。発注票の印字が終了した場合、あるいは、選択された商品が発注されない(買物中止)の場合は、ステップS101 に復帰す

る。発注データが格納されているかどうかを確認する。

発注データが格納されている場合、その利用者子局200 は、データファイル210 中の発注データファイルの中から発注データを取り出して、送信処理を行い、親局100 に一括伝送(バッチ処理)する。

発注データを受け取った親局100 は、その発注データを受発注データ管理部140 のデータファイル142 中の発注ファイルに順次格納しておく。

#### (D) 商品供給者子局400 への発注処理

親局100 の発注ファイルに格納された発注データは次のように処理された後、商品供給者子局400 に伝送される。

発注ファイルに格納されている発注データはビットイメージデータであるから、これらの発注データを入力端末器141 のCRTに表示し、オペレータが、この表示を見ながら、入力端末器141 をキー操作することによって必要な項目をキャラクタデータとして再入力する。

る。

#### (B) 発注処理

各利用者子局200 で選択された商品の発注は次のようにして行われる。

前述したように発注票がプリントアウトされると、利用者はその発注票を持って、その利用者子局200 が設置されている店舗の指定場所(例えば、料金出納場所)に行き、所定の発注伝票に必要な事項を記入する。そして、その発注伝票をイメージスキャナ216 で読み取り、読み取ったイメージデータを商品データファイル210 内の発注データファイルに格納しておく。

#### (C) 発注データの回収

各利用者子局200 で格納されている発注データは、次のようにして親局100 に回収される。

利用者子局200 の非営業時間帯、例えば、午前10時から午後10時までの間が利用者による商品検索を許している営業時間帯である場合には、午後10時から翌日の午前10時までの間に、各利用者子局200 を順にポーリングして、各利用者子局200

再入力された発注データはデータファイル142 中の受注ファイルに格納されるとともに、売れ筋データ管理部130 に送られて、この管理部130 で適宜に分析されて、売れ筋データがデータファイル132 に格納される。

前記受注ファイルに格納されたデータは、それぞれの商品供給者に固有の商品コードを付されて、所定の商品供給者子局400 に一括伝送される。

親局100 から伝送されてきた受注データは、該当商品供給者子局400 のデータファイル410 に格納される。

#### (E) 売れ筋データ処理

親局100 のデータファイル132 に格納されている売れ筋データは、次のようにして各利用者子局200 に伝送される。

親局100 は、各利用者子局200 の非営業時間帯に、売れ筋データ管理部130 のデータファイル132 に格納されている売れ筋データを読み出して、送信処理をして、各利用者子局200 にいっせいに送信する。

各利用者子局200 で受信された売れ筋データは、各利用者子局200 のデータファイル211 に格納され、上述した商品検索時の画像要求の際に利用される。

#### (G) 商品データの更新処理

商品データの更新処理は次のようにして行われる。

親局100 は各商品供給者子局400 をポーリングすることによって、それぞれの商品供給者子局400 に更新すべき商品データ(追加すべき商品データや削除すべき商品データなど)があるかどうかを確認する。

データがある場合は、その商品供給者子局400 は、そのデータファイル410 から更新すべき商品データを取り出して親局100 に一括伝送する。親局100 は、この商品データを商品データ管理部110 に送って、商品データファイル111 へ新たな商品データを追加したり、不要になった商品データを削除したりする。

更新すべき商品データは、利用者子局200 の非

営業時間帯を利用して親局100 から各利用者子局200 にいっせいに伝送される。この商品データを受け取った各利用者子局200 は、それぞれデータファイル210 中に商品データを追加したり、不要になった商品データを削除したりする。

なお、利用者子局200 が独自で画像入力装置を備えている場合には、更新すべき商品データとともに、その商品の画像データや説明文データを親局100 に伝送する。親局100 はその画像データなどによって画像データ管理部120 の画像ファイル121 や商品説明文データファイル128 の内容をそれぞれ更新する。

#### (H) 画像データ/説明文データの伝送処理

画像データ作成子局500 で作成された画像データおよび説明文データは次のようにして親局100 に伝送される。

親局100 は画像データ作成子局500 をポーリングして、新たな画像データ/説明文データがあるかどうかを確認する。

データがあれば、画像データ作成子局500 は、

画像データファイル514 および説明文データファイル516 にそれぞれ格納された画像データおよび説明文データを読み出して、送信処理した後、親局100 に一括伝送する。伝送されたデータは親局100 の画像データ管理部120 に送られ、画像データは画像データファイル123 に、説明文データは商品説明文データファイル128 に、それぞれ格納される。画像データファイル123 に格納された画像データは上述したように、アナログ信号に変換された後、画像ファイル121 に格納される。なお、商品供給者子局400 から直接、画像データや説明文データが伝送される場合も同様に処理される。

#### (I) 商品検索処理

次に本実施例に係る商品情報伝送・検索装置による商品検索処理の例を説明する。

具体的な検索処理の例を説明する前に、本実施例において、商品検索のために各商品について設定されたコードについて説明する。

第10図を参照する。検索対象となる各商品には、同図(a)に示すような商品コードと、同図(b)に示す

ような属性キーコードと、同図(c)に示すような自由キーコードとがそれぞれ設定されている。

商品コードは、検索対象となる商品群を20程度の項目に大分類する大分類コード、各大分類をそれぞれ20程度の項目に中分類する中分類コード、各中分類コードをさらに20程度の項目に小分類する小分類コード、および、各小分類に属する個別商品ごとの個別商品コードから構成されている。勿論、各分類の項目数は任意に設定することができ、上述の例に限定されるものではない。

属性キーコードは、商品のサイズ、色、素材、価格などの商品属性に応じて定められるコードである。

自由キーコードは、利用者の感覚や好みあるいは商品購入目的などから商品を検索することによって、好みの商品を迅速、適格に検索できるようにするために設けられたコードである。自由キーコードは、上述した商品コードによる検索とは独立して、または、商品コードと併用して商品検索に利用される。本実施例において自由コードは、

大きく分けて次のような内容が設定されている。  
 なお、下記の自由キーコードは、各商品について複数個設定することが可能である。また、下記の例は、自由キーコードの一例であり、任意に設定変更することができる。

(1) Aコード：特集企画から選ぶ

商品供給者などによって企画された特集の対象となっている商品群について設定されるコードであり、具体的には、第1表のような各項目が設定されている。

第1表

Aコード	特集企画から選ぶ
A 0 1	北海道特産物
A 0 2	春の新車発表
A 0 3	春の婦人服発表
A 0 4	子供服バーゲン
...	.....

(以下、余白)

(2) Bコード：好みの感覚がある

利用者の好みの感覚に応じて商品群を区分するためのコードで、具体的には、第2表のような各項目が設定されている。

第2表

Bコード	好みの感覚がある
B 0 1	ハイテック
B 0 2	ハイタッチ
B 0 3	チープシック
B 0 4	ハイグレード
B 0 5	ロマンティック
B 0 6	レトロ
B 0 7	トラディショナル
B 0 8	ナチュラル
B 0 9	スポーティー
B 1 0	シンプル
...	.....

(以下、余白)

(3) C：年代にこだわる

利用者の希望する年代に応じて商品群を区分するためのコードで、具体的には、第3表のような各項目が設定されている。

第3表(その1)

Cコード	年代にこだわる
C 0 1	男性 0～5才
C 0 2	男性 6～11才
C 0 3	男性 12～17才
C 0 4	男性 18～25才
C 0 5	男性 26～35才
C 0 6	男性 36～50才
C 0 7	男性 51～70才
C 0 8	男性 71才以上

(以下、余白)

第3表(その2)

Cコード	年代にこだわる
C 0 9	女性 0～5才
C 1 0	女性 6～11才
C 1 1	女性 12～15才
C 1 2	女性 16～20才
C 1 3	女性 21～25才
C 1 4	女性 26～35才
C 1 5	女性 36～45才
C 1 6	女性 46～55才
C 1 7	女性 56～70才
C 1 8	女性 71才以上

(以下、余白)

(4) Dコード：贈答目的が決まっている

贈答目的別に商品群を区分するためのコードで、具体的には、第4表のような各項目が設定されている。

第4表

Dコード	贈答目的が決まっている
D01	結婚祝
D02	出産祝い
D03	節句・七五三
D04	入園・入学祝
D05	卒業祝
D06	就職祝
D07	結婚記念
D08	長寿祝
D09	祝返し
D10	法事
...	.....

(以下、余白)

(5) Eコード：トレンドを意識する

商品の傾向別に商品群を区分するためのコードで、具体的には、第5表のような各項目が設定されている。

第5表

Eコード	トレンドを意識する
E01	簡食化
E02	個食化
E03	群食化
E04	小食化
E05	個遊化
E06	情報化
E07	24時間化
E08	システム化
E09	軽薄短小化
E10	地球化
...	.....

(以下、余白)

(6) Fコード：関連個所からイメージする

商品の関連場所別に商品群を区分するためのコードで、具体的には、第6表のような各項目が設定されている。

第6表

Fコード	関連個所からイメージする
F01	リビング
F02	ダイニング
F03	キッチン
F04	バスルーム・洗面所
F05	トイレ
F06	クローゼット(納屋)
F07	ベッドルーム
F08	書斎
F09	和室
F10	子供部屋
...	.....

(以下、余白)

(7) Gコード：いろいろな機能を求める

商品のいろいろな機能に応じて商品群を区分するためのコードで、具体的には、第7表のような各項目が設定されている。

第7表

Gコード	いろいろな機能を求める
G01	安全性大幅向上
G02	美味性大幅向上
G03	ライブ再現性大幅向上
G04	利便性大幅向上
G05	意外性大幅向上
G06	娯楽性大幅向上
G07	快適性大幅向上
G08	経済性大幅向上
G09	操作性大幅向上
G10	耐久性大幅向上
...	.....

(以下、余白)



次に、商品検索の例を説明する。但し、商品検索の手順は多岐にわたるので、ここでは代表的な三つの例について説明する。

#### 第1例

第1例は、商品の大分類→中分類→小分類→商品の属性の順に商品を検索し、絞り込まれた商品をモニターで確認しながら、最終的に購入を希望する商品を選択する例である。

以下、第11図および第14図を参照して説明する。第11図は検索処理の概略フローチャート、第14図は検索処理のステップに応じてタッチスクリーン213に表示される各画面を示している。なお、第14図中の指印は、利用者の指によって触れられたタッチスクリーン上の位置(選択項目)を示しており、実際のタッチスクリーン画面上には表示されないものである。また、指印中の符号は操作された順序を示している。

第9図に示したステップS108の商品検索を行うにあたり、タッチスクリーン213に第14図に示した初期画面(a)を表示し(ステップN101)、この

初期画面(a)上で利用者に、(1)お買い物、(2)店からの案内、(3)伝言板の何れかの選択を促す(ステップN102)。

『伝言板』が選択された場合には伝言画面(図示省略)を表示し(ステップN103)、『店からの案内』が選択された場合には案内画面(図示省略)を表示する(ステップN104)。

『お買い物』が選択された場合には、商品選択方法画面(b)を表示し(ステップN105)、(1)~(9)の選択肢で示された何れかの商品選択方法の指定を利用者に促す(ステップN106)。

選択肢(1)は、利用者が購入希望する商品の商品番号を既に知っている場合に指定される。選択肢(2)は、購入希望する商品を商品分類に基づいて検索する場合に指定される。選択肢(3)ないし選択肢(9)は利用者の感覚や好みによって商品を検索する場合に択一的に指定される。

この例では、商品分類によって商品を検索する選択肢(2)が指定されている。選択肢(2)を指定するには、まず、選択肢(2)のキーに触れた後(指印①)、

画面右側上の『確認』キーに触れる(指印②)。

『確認』キーは画面を次の段階に進ませ、次の画面が無いときは初期画面(a)に戻すための操作キーである。なお、画面(b)の『操作説明』キーは、利用者がタッチスクリーンの操作が判らなくなったときに使用される操作キーで、このキーに触れると操作の詳しい説明がタッチスクリーン画面に表示される。『選択内容』キーは、利用者が商品検索のために、それまで選択してきた条件を表示するための操作キーである。『訂正』キーは、誤った選択をした場合に、それを訂正するための操作キーである。『買物中止』キーは、商品検索などを中止する際に使用される操作キーであり、このキーが押されるとタッチスクリーン画面は初期画面(a)に戻る。

前述のように、選択肢(2)(商品分類による検索)が選択されると、タッチスクリーンには商品の大分類画面(c)が表示され(ステップN107)、何れかの大分類項目の選択を利用者に促す(ステップN108)。なお、画面(c)中、『次ページ有り』の表示

は、商品区分が複数の画面にわたって表示されていることを意味する。画面右端の『次ページ』キーに触れると、次の大分類画面が表示され、『前ページ』キーに触れると、先の画面に戻る。

画面(c)において、例えば、選択肢(2)(紳士衣料)→『確認』の順序でキー操作されると、タッチスクリーン画面には、紳士衣料の中分類画面(d)が表示され(ステップN109)、中分類項目の選択を利用者に促す(ステップN110)。なお、画面(d)の右端下の『前分類』キーは、画面を前の分類(この場合は、大分類)に戻すための操作キーである。大分類の選択を誤った場合などには、この『前分類』キーに触れて、画面を大分類に戻すことによって、大分類項目の再選択をすることが可能である。

画面(d)において、例えば、選択肢(5)(ジャケット)→『確認』の順序でキー操作されると、タッチスクリーン画面には、ジャケットの小分類画面(e)が表示され(ステップN111)、小分類項目の選択を利用者に促す(ステップN112)。

小分類画面(e)において、何れかの選択肢が選ばれ、次に「確認」の順序でキー操作されると、操作選択画面(f)が表示され(ステップN113)、三つの操作選択肢の何れかの指定を促す(ステップN114)。

選択肢(1)は、第4図および第5図に示したモニター232を見ながら商品を選択したい場合に選択される。選択肢(2)は、小分類まで絞り込まれた商品群について、サイズや色等の商品の属性を指定することによって、さらに商品を絞り込みたい場合に選択する。選択肢(3)は、商品の選択方法を追加・変更したい場合に選択する。

例えば、選択肢(2)が指定された場合、小分類で選択された「テーラード」に関する商品属性画面(g)が表示され(ステップN115)、(1)サイズ、(2)色、(3)素材、(4)価格の各商品属性についてどのような条件を設定するかを利用者に求める(ステップN116)。

上述した(1)~(4)の各商品の属性は画面の上半分に表示され、画面の下半分に各属性について指定

することができる条件が表示される。画面(h)は、「素材」に関する条件を指定している状態を示しており、その条件としては(1)毛100%、(2)絹100%、(3)毛・絹混紡、(4)ポリエステル混紡、(5)その他が指定できる。例えば、選択肢(1)の「毛100%」が指定されると、「(1)毛100%」が、画面上の「(3)素材」の右横に表示される。なお、画面(h)では、「サイズ」として、(9)6号A B体が、「色」としてグレー系が、それぞれ先に指定されているので、その内容が画面上側に表示されている。

次に商品属性として「(4)価格」を指定すると、画面(h)の下半分が変わって、画面(i)になる。画面(i)の下半分に表示された数字キーを操作することによって、利用者が希望する商品価格の範囲を指定し、続いて「確定」キーに触れると、入力された希望価格の範囲が、画面の上半分の「価格」の右横に表示される。そして、画面(i)の「確認」キーに触れると、タッチスクリーン画面は操作選択画面(j)に切り替わり、利用者に次の操作の選択を促す(ステップN118)。

ここでは、選択肢(1)(商品モニターで見ながら選択する)が指定されたとする(ステップN119)。この選択肢(1)が指定された段階で商品を検索するための条件が確定する。

この例では、商品の大分類、中分類、小分類が指定され、さらに、商品の属性が指定された結果、第10図に示した商品の大分類コード、中分類コード、小分類コードさらには属性キーコードが決定している。そこで、これらのコードを持つ商品群が、第4図に示した商品データファイル210の中から読み出されて、画面(j)が表示され(ステップN119)、購入候補として残す商品の選択が促される(ステップN121)。

画面(j)の上端には、検索された該当商品の数(この例では32点の商品がある)が表示される。該当商品が32点を越える場合は、上述したように売れ筋データを参照して、発注頻度の高い順に32点の商品に自動的に絞り込まれる。

画面(j)では該当商品32点の内、12点の商品名が表示され、残りの20点は次のページと更に次のペ

ージで表示される。

商品の検索が終了すると、第9図において説明したように画像呼び出し処理が行われて、該当商品群の画像データおよび商品説明文データが画像バッファメモリ226にセットされる。

そして、画面(j)の「モニター」キーに触れると、画像バッファメモリ226から商品№1ないし№4の各画像が読み出されてモニター232に分割表示され、続いて「モニター」キーに触れると、商品№5から№9までの各画像がモニター232に分割表示される。このように、「モニター」キーを連続操作することによって、利用者は該当商品群の各画像を見ながら商品を選択することができる。

なお、画面(j)中、「モニター番号」キーは、モニター232に画像表示された四つの商品の中から特定の一つの商品を指定するための操作キーである。

「拡大」キーは、モニター232に4分割表示されたうちの一つの画像を、モニター232全体に拡大表示するための操作キーである。「拡大」キー→

『モニター番号』キー（例えば、2）の順に操作すると、指定されたモニター番号の画像（この例では、モニター232の右上に表示された画像）が拡大表示される。

『商品説明』キーは、モニター232に表示された商品の説明文を見たい場合に操作されるキーである。『商品説明』キー→『モニター番号』キーの順に操作されると、該当商品の説明文データが画像バッファメモリ226から読み出されるとともに、前記『モニター番号』キーによって指定された画像の隣の画像表示（例えば、モニター番号1が指定されると、その隣のモニター番号2の画像表示）が消え、この消えた領域に前記読み出された商品説明文が表示される。利用者は、この説明文を参照することによって、より詳細な商品の情報を知ることができる。

画面(1)の右端の『候補選択』キーは、検索された該当商品の中から、利用者の好みにあった商品（購入候補になる商品）を指定するための操作キーである。利用者は、モニター232に映し出され

た四つの商品の中から特定の商品を購入候補に上げる場合には、この『候補選択』キーに触れ、続いて、該当する『モニター番号』キーに触れることによって、その商品を購入候補に上げることができる。候補に上がると、画面(1)に表示された商品名の左隣の候補欄に『\*』印が表示される（画面(4)参照）。

購入候補に上げられた複数点の商品群をさらに絞り込むために、この実施例では候補選択を4回まで行うことができるように構成されている。一回目の候補選択が終了、画面(4)右端の『次回候補』キーを操作すると、タッチスクリーン画面は画面(1)に切り替わる。この画面(1)では、例えば一回目の候補選択によって絞り込まれた12点の商品群が表示されている。この状態で、画面右端の『前回候補』キーに触れると、画面(4)に戻り、一回目の候補選択をやり直すことができる。

画面(1)において、『モニター』キーに触れると、一回目の候補選択によって絞り込まれた商品群（この例では12点の商品）から、最初の四つの商

品No.1, No.3, No.5, No.6の画像がモニター232に表示される。さらに『モニター』キーに触れると、次の商品No.7, No.10, No.12, No.15の各商品の画像が表示される。このとき、モニター番号1の商品（商品No.7）を二回目の購入候補にしたい場合には、一回目の候補選択と同様に『候補選択』キー→『モニター番号1』の順にキー操作すればよい。これにより、画面(1)上の商品No.7の隣の候補欄に『\*』が追加表示される（ステップN122）。

二回目の候補選択で購入希望する商品が最終的に選択できた場合（この例では、商品No.7の商品）、画面(1)右上の『確認』キーに触れる。これにより、タッチスクリーン画面は画面(4)に切り替わり、選択された商品の商品番号と商品名とが表示される（ステップN123）。なお、『\*』が二つ付いた商品が複数点あれば、それらの商品の商品番号と商品名とが表示される。

画面(4)が表示されると、その商品を利用者が購入希望するかどうかを判断する（ステップN124）。その商品を購入しようとする利用者が思う場合は、画

面右上の『確認』キーに触れる。これにより、ステップN125（第9図におけるステップS118）に進んで、発注票が印字される。発注票の印字が完了するか、あるいは、ステップN124で、画面(4)右端の『買物中止』キーが操作されると、タッチスクリーン画面は初期画面(a)に戻る。

## 第2例

第1例では、画面(e)で小分類を選択した後、画面(f)（ステップN114）で選択肢(2)、即ち、商品属性を指定する操作を選んだ。第2例では、商品の分類を指定した後、画面(f)において、選択肢(3)、即ち、商品選択方法を追加・変更する操作を選んだ場合の処理について説明する。

第12図は、第2例に係る検索処理の概略フローチャートである。但し、第1例と重複する部分は図示を省略しており、また、第11図と同一符号で示した部分は第1例と同一の処理ステップである。

第1例におけるステップN114において、商品選択方法を追加・変更する操作が選択されると、ステップN105に戻り、タッチスクリーン画面に、

第14図に示した商品選択方法画面(e)が表示される。ここでは、選択肢(4)（好みの感覚がある）が指定されたとする。そうすると、タッチスクリーン画面に感覚画面(f)が表示され（ステップN201）、利用者に希望する感覚の選択を促す（ステップN202）。

感覚画面(f)に表示された(1)～(4)の各感覚項目は、複数個指定することができる。そして、指定された全ての感覚を備えている商品を選択するAND処理と、指定された複数個の感覚のうち、少なくとも一つの感覚を備えている商品を選択するOR処理とを、択一的に指定できるようになっている。AND処理を指定する場合には、画面(f)の右端の「AND」キーに触れた後、希望する複数個の選択肢を指定し、「確認」キーの順に触れる。一方、OR処理を選択する場合は、画面(f)の右端の「OR」キーに触れた後、希望する複数個の選択肢を指定し、「確認」キーの順に触れる。「AND」処理および「OR」処理のいずれもが選択されなかった場合には、自動的にAND処理によって商

品検索が行われる。

ここでは、選択肢(4)（シンプル）が指定されたとする。そうすると、確認のためにもう一度、タッチスクリーン画面に操作選択画面(g)を表示し（ステップN113）、利用者に操作選択を促す（ステップN114）。

ここで、利用者がさらに商品選択方法を追加したい場合には、画面(g)の選択肢(3)キーに触れる。そうすると、タッチスクリーン画面はもう一度、商品選択画面(e)に戻り（ステップN105）、商品選択方法の指定を促す（ステップN106）。

画面(h)によって、選択肢(9)（いろいろな機能を求める）が指定された場合には、機能画面(i)が表示され（ステップN203）、利用者が特に希望する商品機能の選択が促される（ステップN204）。ここでは、利用者が選択肢(7)（快適性大幅向上）および選択肢(8)（耐久性大幅向上）の二つの機能をAND処理で追加指定している。

商品機能の追加指定が終わって「確認」キーが操作されると、タッチスクリーン画面にもう一度

操作選択画面(f)を表示し（ステップN113）、利用者に操作選択を促す（ステップN114）。

ここで、選択肢(2)（商品属性の指定）を選ぶと、第1例と同様の商品属性画面(h)、(i)を表示し（ステップN115）、利用者に希望する商品の条件の設定を促す。商品属性の指定が終わると、第1例で示した画面(i)が表示される。ここで、選択肢(1)（商品をモニターで見ながら選択する）が指定された場合には、第1例の画面(i)と同様に、該当商品の検索が行われる。

第2例では、商品の大分類、中分類、小分類、商品の属性に加えて、好みの感覚（Bコード）と、商品の機能（Gコード）が指定されているので、これらのコードを持つ商品群が、第4図に示した商品データファイル210の中から検索される。

この例では検索された商品名が、例えば、画面(i)のように表示される。このとき、画面右端の「選択内容」キーが操作されると、選択内容画面(j)が表示される。利用者は、この画面(j)によって、自分が先に指定した選択内容を確認することがで

きる。画面(j)中の「元の画面に戻る」キーに触れると、タッチスクリーン画面は画面(i)に戻り、希望する商品の選択を行う。商品を選択するための処理は、第1例と同様であるから、ここでの説明は省略する。

### 第3例

第1例および第2例では、商品分類の検索に基づいて商品を選択する例を説明した。第3例は、商品分類の検索を経ないで、最初から商品の機能によって、希望する商品を検索・選択する例である。

第13図は、第3例に係る検索処理の概略フローチャートである。但し、第1例と重複する部分は図示を省略しており、また、第11図と同一符号で示した部分は第1例と同一の処理ステップである。

商品選択画面(h)によって、選択肢(6)（贈答目的が決まっている）が選択されたとする。贈答目的の画面(i)を表示し（ステップN301）、利用者に贈答目的の選択を促す（ステップN302）。

例えば、選択肢(6)（就職祝い）が指定されると、

タッチスクリーン画面に操作選択画面(1)を表示し(ステップN303)、利用者に操作選択を促す(ステップN303)。なお、商品属性の指定は、商品の小分類が定まっていることを前提としているため、この段階では、商品属性指定のための選択肢は表示されない。

画面(1)で、選択肢(2)(商品選択方法を追加・変更する)が選択されると、再び商品選択方法画面(2)に戻る。ここで、選択肢(7)(トレンドを意識する)が選択されると、タッチスクリーン画面に商品の傾向を表示したトレンド画面(3)を表示し(ステップN305)、利用者に希望するトレンド項目の選択を促す(ステップN306)。

商品の傾向も、AND処理またはOR処理で複数個選択することができる。画面(3)では、OR処理で選択肢(5)(個性化)と選択肢(6)(情報化)とが指定された例を示している。もし、選択肢(5)を誤って指定してしまった場合は、画面(4)に示すように、画面右端の「訂正」キーに触れた後、選択肢(5)のキーに触れることによって、選択肢(5)の選

択を無効にし、改めて、希望する選択肢(例えば、選択肢(5)(システム化))のキーに触れ、続いて、「確認」キーに触れることによって、希望する商品傾向が確定する(ステップN307)。

希望する商品傾向が確定すると、タッチスクリーン画面に、操作選択画面(1)を表示する(ステップN303)。この画面(1)で選択肢(1)(商品をモニターで見ながら選択する)が選択されると、前述した利用者の指定に基づいて、商品データファイル210の中から、D06コードを持つ商品群(贈答品で就職祝いに適した商品群)で、かつ、E05コード(情報化された商品傾向を持つ商品群)またはE08コード(システム化された商品傾向を持つ商品群)を持つ商品群が検索され、以後、第1例と同様して商品の選択が行われる。

以上のように、本実施例に係る検索処理によれば、希望する商品を検索する場合に、商品の大分類、中分類、小分類および商品属性の他に、利用者の感覚や好みあるいは商品購入目的などから商品を検索することができるので、利用者の好みに

合った商品を迅速、適格に検索することができる。

なお、本発明に係る商品情報伝送・検索装置は、上述したような実施例に係る装置に限定されるものではなく、次のように変形実施することも可能である。

(1) 実施例では、中継器300を介して親局100と相互にデータ伝送可能な利用者子局200、商品供給者子局400、画像データ作成子局500を設置したが、この他に、利用者の信用調査用の子局を設置してもよい。このような信用調査子局を設置した場合、次のようにデータ伝送を行う。

利用者がクレジット販売を希望する場合に、該当利用者子局200からクレジット販売希望の旨を親局100に伝送する。親局100は、これを信用調査子局に伝送する。信用調査子局には、クレジット販売利用者の信用調査データを格納したファイルを設置しておき、このファイルから、当該利用者の信用調査データを読み出して、クレジット販売利用の可否を判断する。そして、その結果を親局100を介して、該当利用者子局200に伝送する。

信用調査結果の連絡を受けた利用者子局200では、その調査結果を、タッチスクリーン画面などに適宜に表示することによって、クレジット販売の可否を利用者に知らせる。

(2) 利用者子局200から親局100へ、商品の納期間い合わせを行うようにしてもよい。例えば、親局100に、各商品の標準的な納期データを格納したファイルを設置しておき、利用者子局200からの納期間い合わせのあった商品の納期データを前記納期データファイルから読み出し、これを該当利用者子局200に返送して、タッチスクリーン画面などに表示するようにしてもよい。一方、親局100において、商品納期が不明な場合には、親局100から商品供給者子局400に納期間い合わせを行う。商品供給者子局400から納期連絡を受けた親局100は、それを該当利用者子局200に伝送する。

(3) 実施例では、利用者子局200から商品の画像要求があった場合に、その商品の静止画像を親局100から該当利用者子局200に伝送するように

したが、この他に一定の時間帯に親局100 から全ての利用者子局200 に商品の動画を伝送して、いわゆるテレビショッピングのような形態によって、商品情報を利用者に提供するようにしてもよい。この際、動画データとともに、商品説明に関する音声データを各利用者子局200 に伝送するものもよい。

(4) 実施例で示した商品検索の手順や、タッチスクリーン画面の表示例は任意に変更実施することができる。例えば、商品の分類表示などを、文字のみによって行わないで、例えば、アイコンと呼ばれる図案も表示して、利用者の理解を助けるようにしてもよい。

(5) 実施例では、有形の商品についての情報伝送や検索について説明したが、本発明は、観光案内や引っ越し手配などのサービス（無形の商品）に関する情報の提供や検索にも適用することができる。

(6) 親局100 に故障が発生したときに、これをバックアップするための局を別途設けるようにし

る。

また、商品データの更新は、回線の混雑が少ない利用者子局の非営業時間帯に行われるので、商品データを円滑に更新することができる。

(3) 本発明に係る第1の商品情報伝送・検索装置によれば、多くの商品情報を多数の需要者に迅速に提供することができ、しかも、必要な画像データは、利用者子局からの要求により親局から、当該利用者子局に伝送するようにしているので、利用者子局に容量の大きな画像データベースを備える必要がなく、装置の簡略化を図ることができる。

(4) 本発明に係る第2の商品情報伝送・検索装置によれば、複数枚の光ディスクに、各商品の画像データが、商品の分類などに無関係にランダムに格納されているから、同種の商品の画像データを読み出す場合に、個別の光ディスクからそれぞれ並列的に画像データを読み出すことができ、同一の光ディスクから複数商品の画像データを読み出す場合に比較して、読み出しに要する待ち時間

てもよい。

(7) 実施例では、画像データや商品説明文データを、画像データ作成子局500 などの子局で作成するように説明したが、これらのデータを親局100 で作成するように構成してもよいことは勿論である。

#### <発明の効果>

本発明によれば、次の効果が発揮される。

(1) 本発明に係る第1の商品情報伝送・検索方法によれば、通信衛星に搭載された中継器を介して、多数の商品データや所望の画像データを利用者子局に伝送し、商品の検索に供するようにしているから、前述した従来例に比較して、多くの商品情報を多数の需要者に迅速に提供することができる。また、利用者は検索された商品の画像を比較検討しながら好みの商品を選択することができる。

(2) 本発明に係る第2の商品情報伝送・検索方法によれば、利用者子局に格納されている商品データがいつせいで更新されるから、利用者は流行品や季節物の商品情報を速早く入手することができる。

が短縮され、画像データを迅速に利用者子局に伝送することができる。

(5) 本発明に係る第3の商品情報伝送・検索装置によれば、各利用者子局からの商品発注情報が親局に集められ、親局において、商品の売れ筋データが記録されるので、この売れ筋データに基づいて商品の流行などの市場の動向を迅速に把握することができる。商品開発や販売計画をたてる上でたいへん便利である。

(6) 本発明に係る第4の商品情報伝送・検索装置によれば、利用者子局において検索された商品の数が多い場合に、親局から伝送された売れ筋データを参照して、検索商品群を発注頻度の高い順に所定の数の商品群に絞り込み、その商品群について親局へ画像要求するようにしているので、端末画像データ格納手段の記憶容量をあまり大きくしなくても、必要充分なだけの商品画像を表示することができる。

また、親局にとっては、利用者子局から要求のあった画像データのみを送信すればよいから、上

述の商品群の絞り込みを親局が実施する場合に比較して、データ処理の負担が軽減される。

さらに、利用者にとっては、流行商品を知ることができるから、商品を選択する上で好都合である。

(7) 本発明に係る第5の商品情報伝送・検索装置によれば、親局との間でデータ伝送可能な商品供給者子局を備えているから、発注された商品の情報を迅速に商品供給者に知らせることができる。

(8) 本発明に係る第6の商品情報伝送・検索装置によれば、画像データを作成する画像データ作成子局を備えているから、親局で画像データを作成する必要がなくなり、親局におけるデータ作成の負担が軽減される。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る商品情報伝送・検索装置の構成を示した概略ブロック図である。

第2図ないし第14図は本発明の一実施例の説明であり、第2図は装置全体の概略ブロック図、第3図は親局の概略ブロック図、第4図は利用者子

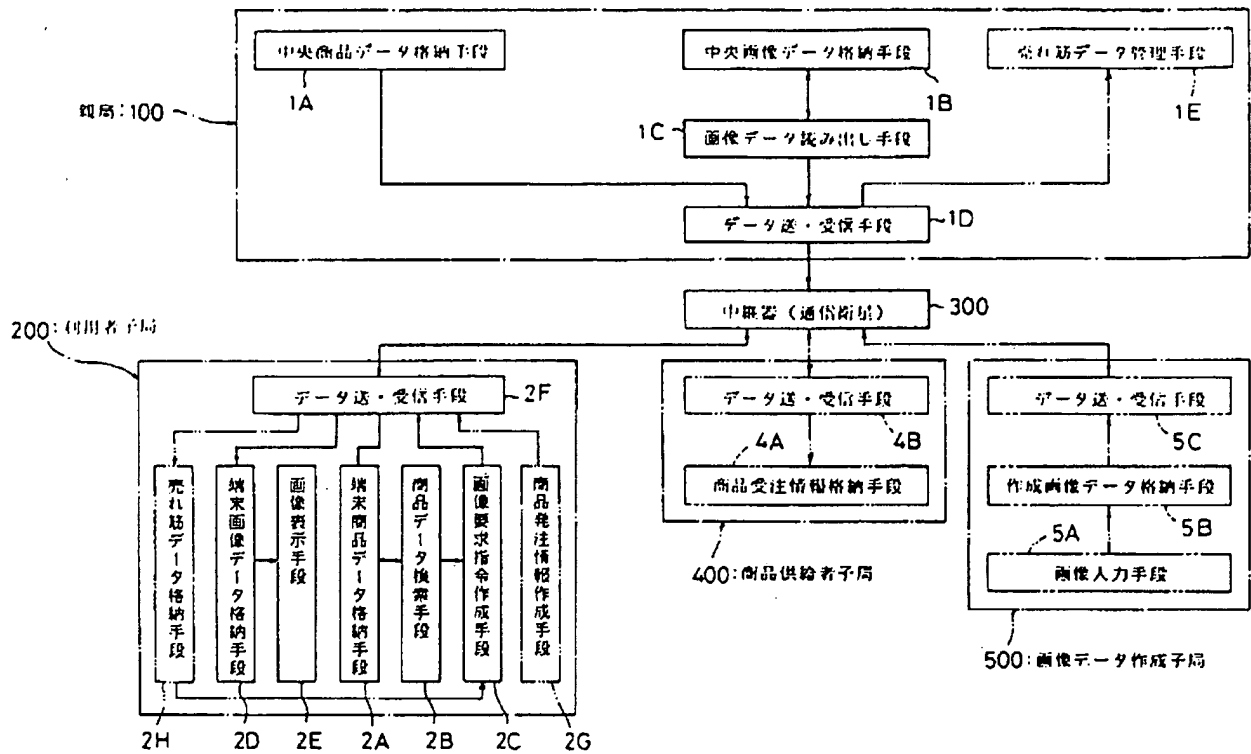
局の概略ブロック図、第5図は利用者子局に設置される検索用操作卓の外観斜視図、第6図は商品供給者子局の概略ブロック図、第7図は画像データ作成子局の概略ブロック図、第8図は伝送データのフォーマットの説明図、第9図は装置の動作フローチャート、第10図は検索用コードの説明図、第11図は商品検索の第1例の手順を示したフローチャート、第12図は商品検索の第2例の手順を示したフローチャート、第13図は商品検索の第3例の手順を示したフローチャート、第14図は上記各検索例におけるタッチスクリーン画面の表示例を示している。

- 100 … 親局
- 110 … 商品データ管理部
- 111 … 商品データファイル
- 120 … 画像データ管理部
- 121 … 画像ファイル
- 130 … 売れ筋データ管理部
- 140 … 受発注データ管理部

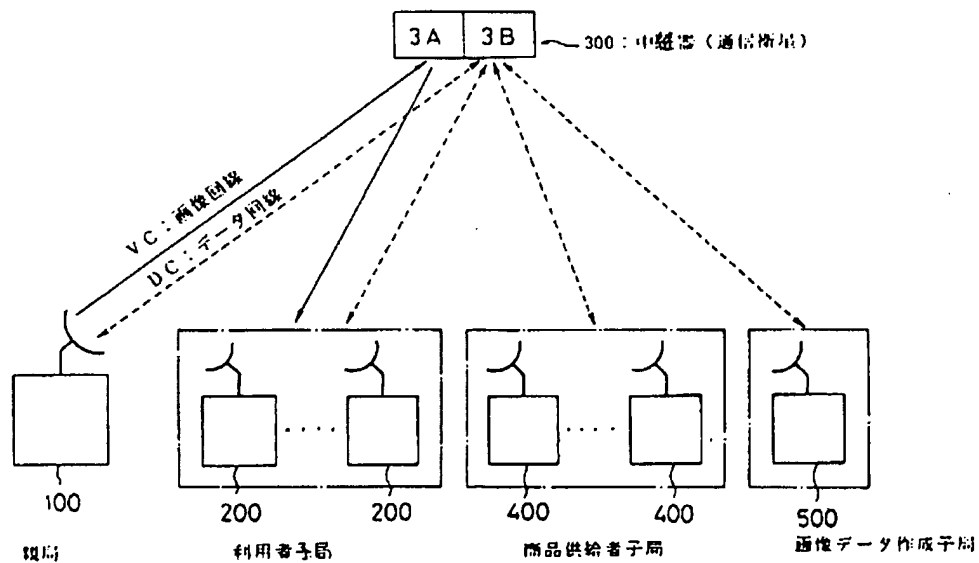
- 200 … 利用者子局
- 210 … データファイル
- 211 … 売れ筋データファイル
- 212 … 検索端末装置
- 213 … タッチスクリーン
- 216 … イメージスキャナ
- 226 … 画像バッファメモリ
- 232 … マルチスキャンモニタ
- 300 … 中継器
- 400 … 商品供給者子局
- 410 … データファイル
- 500 … 画像データ作成子局
- 510 … 画像入力装置
- 514 … 画像データファイル
- 170, 220, 416, 522, … データ送・受信器

出願人 ヤマト電気エンジニアリング株式会社  
代理人 弁 理 士 杉 谷 勉

第 1 図

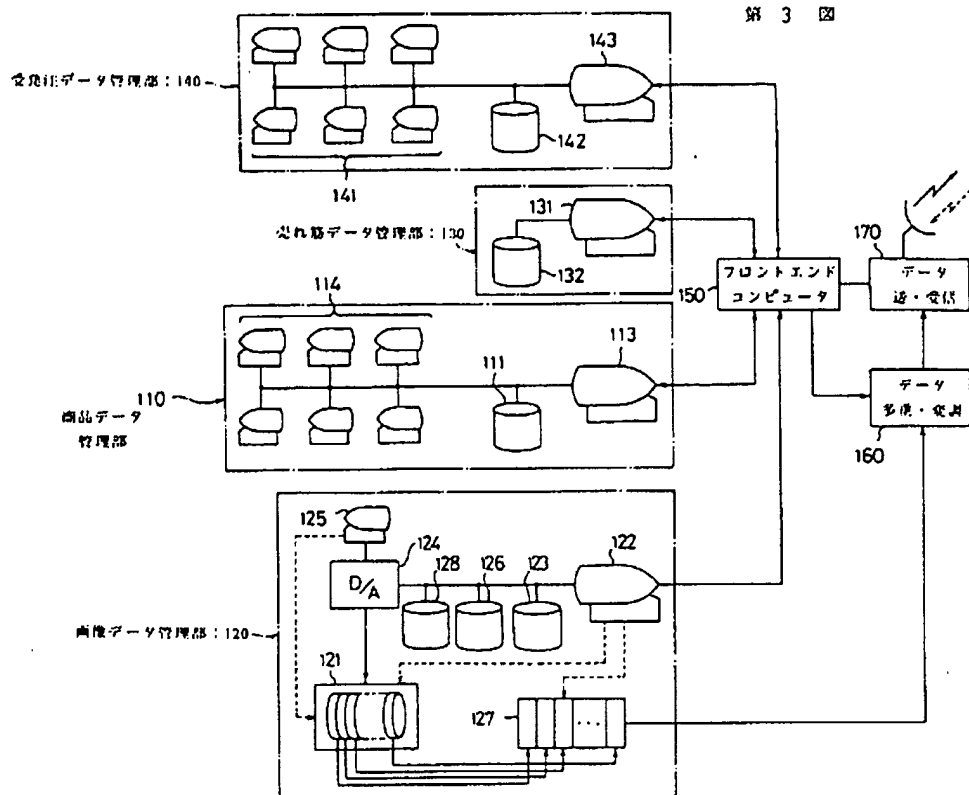


第 2 図

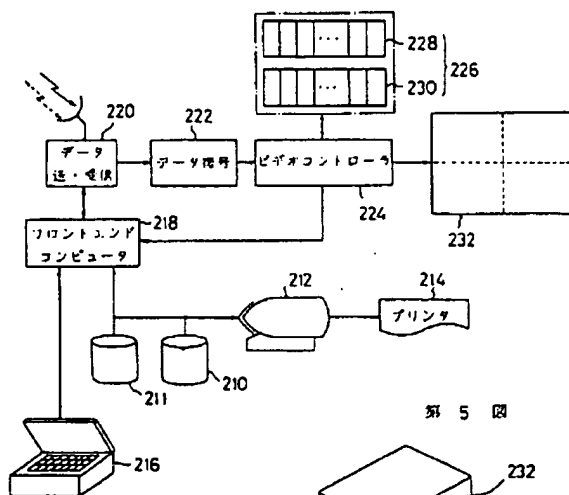




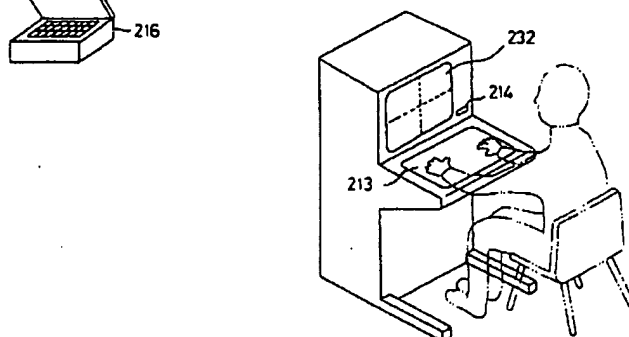
第 3 図



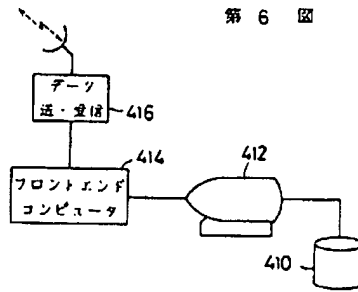
第 4 図



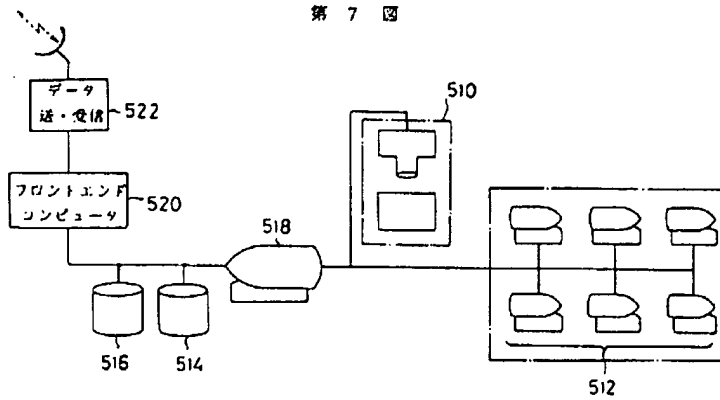
第 5 図



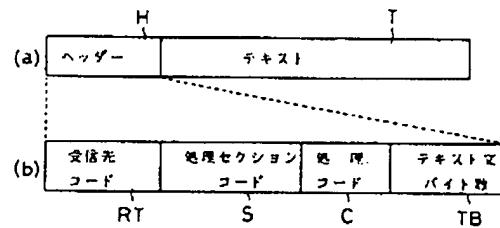
第 6 図



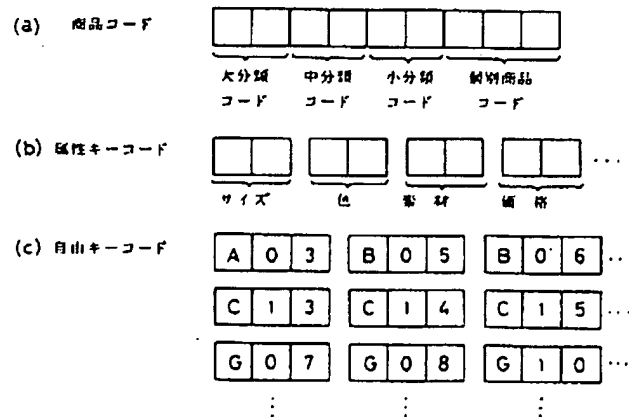
第 7 図



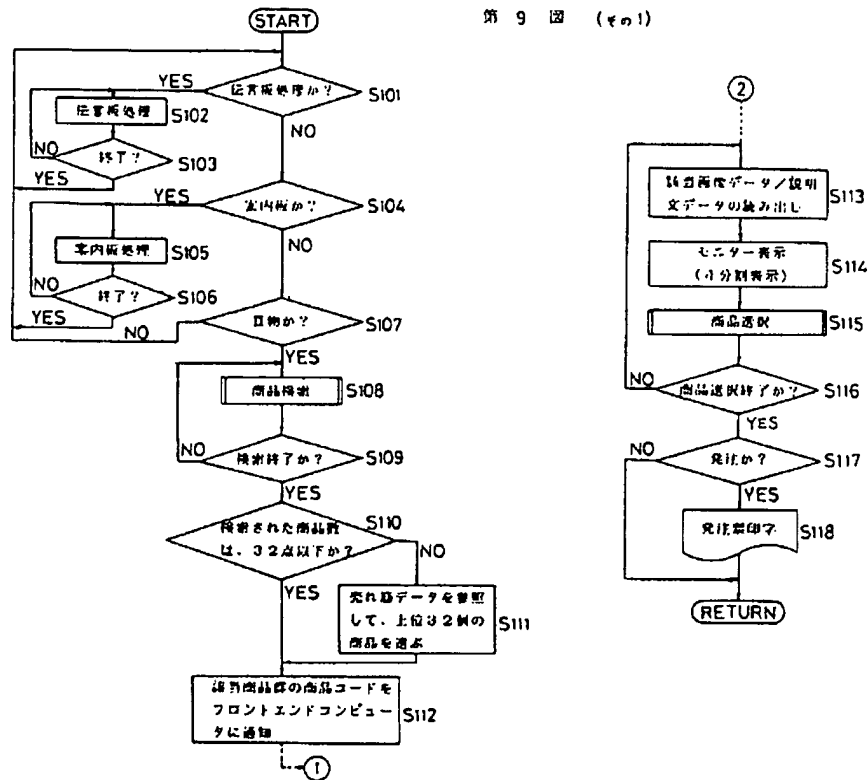
第 8 図



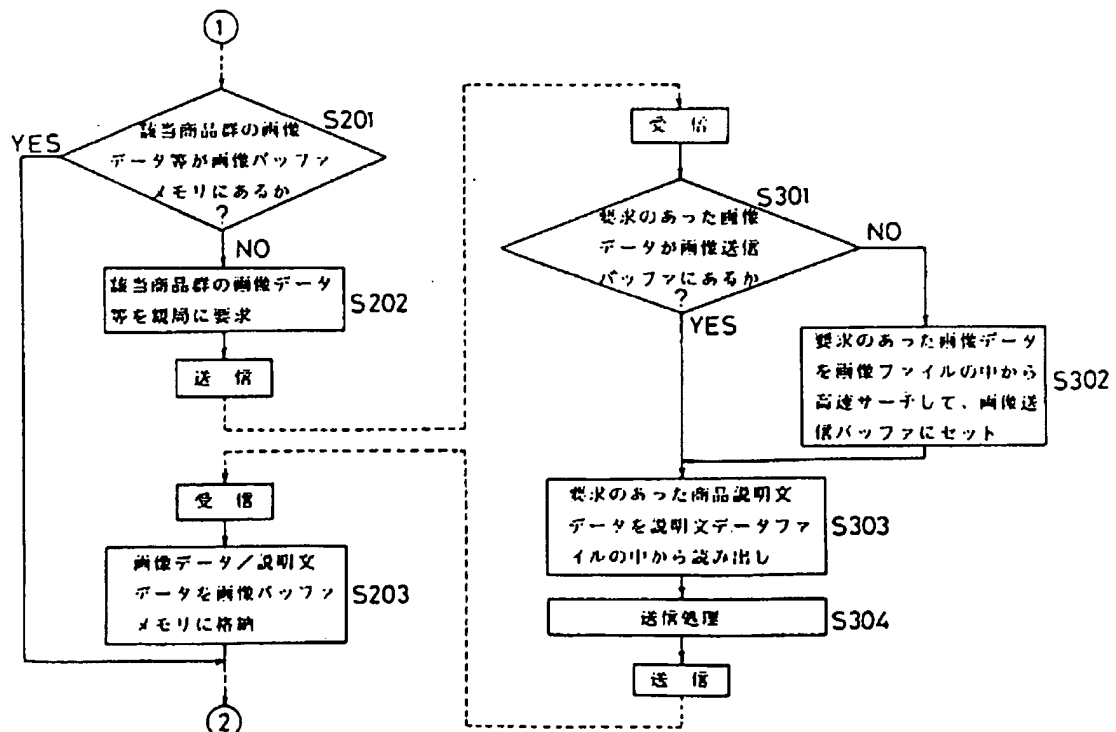
第 10 図



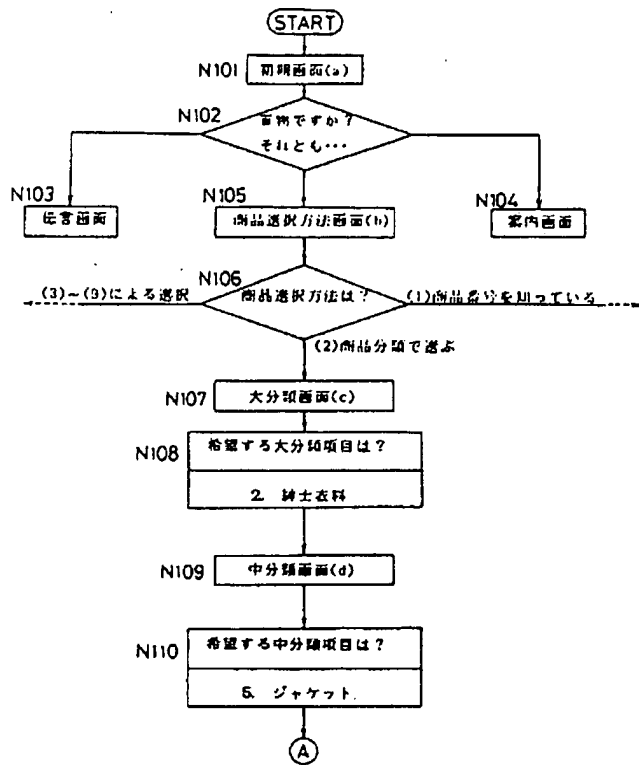
第 9 図 (その1)



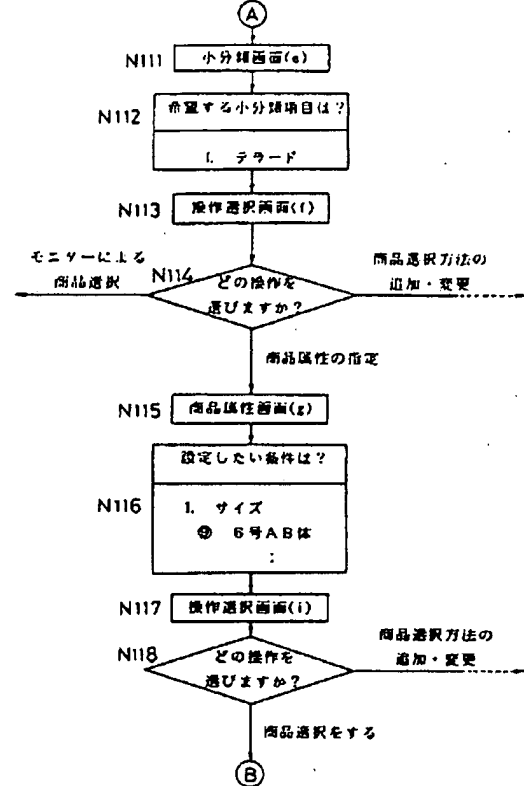
第 9 図 (その2)



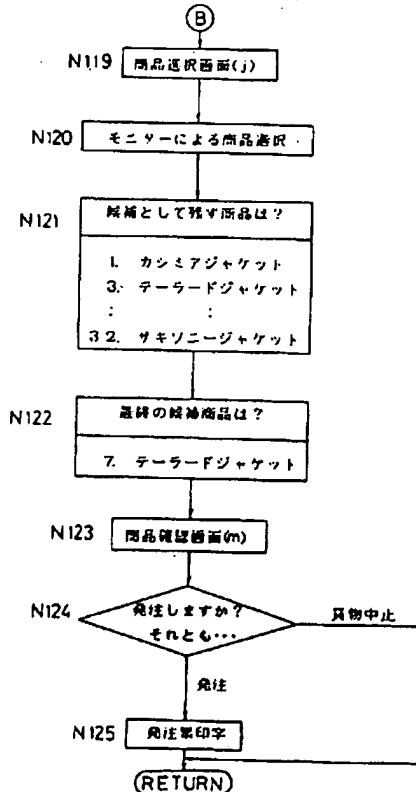
第 11 図 (その1)



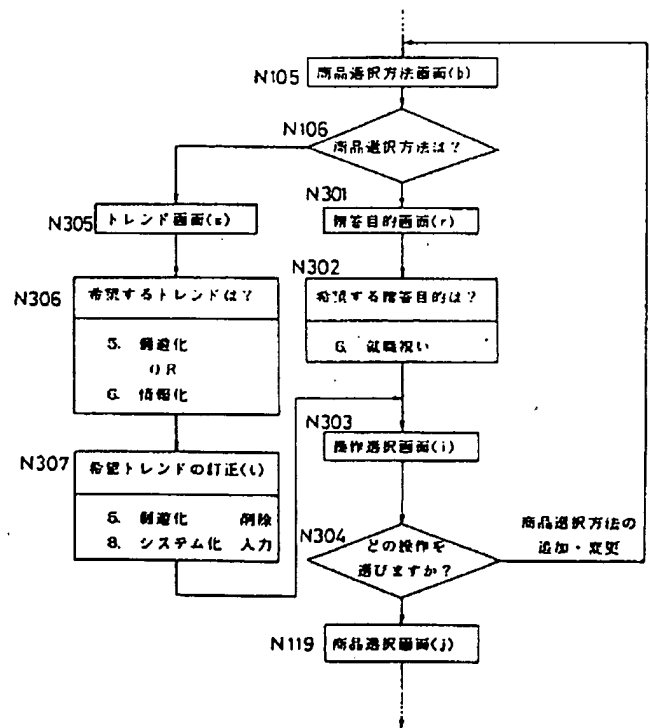
第 11 図 (その2)



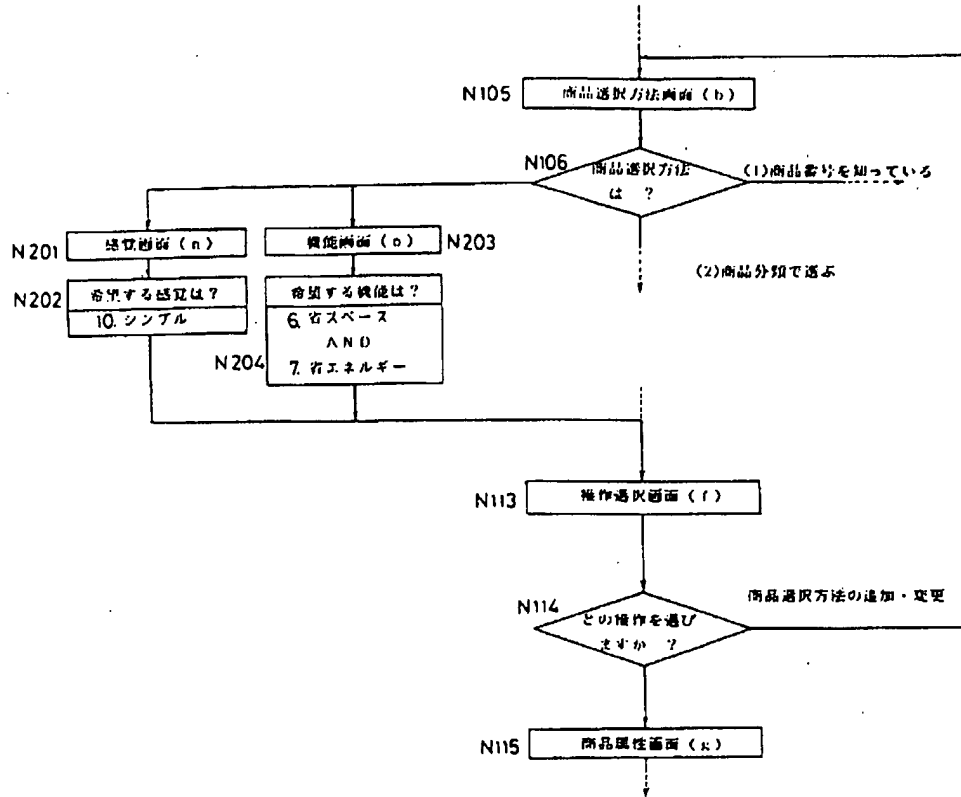
第 11 図 (その3)



第 13 図



第 12 図


第 14 図 (その1)  
(a)

CAFE CATALOGLOGY	
	<div>1 お買物</div> <div>2 店からの案内</div> <div>3 伝言板</div>

第 14 図 (その2)  
(c)

商品分類で選ぶ (大分類)		商品数	点	選
1 婦人衣料	6 家具住宅設備機器			操作説明
2 紳士衣料	7 家電・ガス機器			選択内容
3 和洋品雑貨・アパレル	8 A.V.・情報機器			訂正
4 ベビー・子供用品	9 書籍・A.Vソフト			買物中止
5 インテリア・寝具品	10 文具・家庭・娯楽用品			

ご希望の [分類番号] を一つ選択し、次に [図12] に触れて下さい。  
画面は2ページあります。 [前ページ] [次ページ] に触れて下さい。

(b)

商品選択方法		商品数	点	選
1 商品番号を知っている	6 国産品が欲しい			操作説明
2 商品分類で選ぶ	7 トrendを意識する			選択内容
3 特価企画から選ぶ	8 関連箇所からイメージする			訂正
4 好みの感覚がある	9 いろいろな機能を求める			買物中止
5 年代にこだわる				

上の中から希望項目一つの [番号] [図12] の欄に触れて下さい  
(画面が切り替わって他の項目も併せて選べます)  
訂正の場合 [訂正] [図12] の欄  
買物を中止する場合 [買物中止]

(d)

商品分類で選ぶ (中分類)		商品数	点	選
1 スーツ	6 セーター・カーディガン			操作説明
2 フォーマルウェア	7 シャツ			選択内容
3 スラックス	8 ナイトウェア			訂正
4 コート	9 アンダーウェア			買物中止
5 ジャケット	10 ソックス			

ご希望の [分類番号] を一つ選択し、次に [図12] に触れて下さい。  
大分類にもどりたときは [図11] に触れます。

第 14 図 (その3)  
(e)

商品分類で選ぶ (小分類)		商品群	点	確	選
1	ターラード	6	アルゾン		操作説明
2	フライン	7	ジャンパー		選択内容
3	サファリ	8	その他		訂 正
4	ダウン				
5	ブレザー				買物中止

この画面の「分類番号」を一つ選択し、次に「確定」に触れて下さい。  
中分類にもどりたときは「前分類」に触れます。

前ページ  
次ページ  
前分類

第 14 図 (その4)  
(g)

商品属性		商品群	点	確	選
1	サイズ	0	6号A B 体		操作説明
2	色	3	グレー系		選択内容
3	素材	1	毛100%		訂 正
4	価格				
5	毛100%				買物中止
6	毛100%				
7	毛・綿混紡				
8	ポリエステル混紡				
9	その他				

メニューから一つ選んで下さい。数値入力では「数値」を入力して下さい。  
必要な条件の選択が全て終わったら、「確定」に触れて下さい。

(f)

次の操作を選んで下さい。	
1	商品をモニターで見ながら選択する
2	その前に商品属性 (サイズ・色等) を指定する
3	商品選択方法を追加・変更する

(h)

商品属性		商品群	点	確	選
1	サイズ	3	6号A B 体		操作説明
2	色	3	グレー系		選択内容
3	素材	1	毛100%		訂 正
4	価格		50,000-70,000		
5	毛100%				買物中止
6	毛100%				
7	毛・綿混紡				
8	ポリエステル混紡				
9	その他				

メニューから一つ選んで下さい。数値入力では「数値」を入力して下さい。  
必要な条件の選択が全て終わったら、「確定」に触れて下さい。

第 14 図 (その5)  
(i)

次の操作を選んで下さい。	
1	商品をモニターで見ながら選択する
2	商品選択方法を追加・変更する

第 14 図 (その6)  
(k)

モニターによる商品選択		該当商品は 32 点あります		確	選
※1	カシミヤジャケット	※7	ターラードジャケット		操作説明
※2	ビジネスジャケット	※8	ツイードジャケット		選択内容
※3	ターラードジャケット	※9	ラムズウールジャケット		訂 正
※4	フランネルジャケット	※10	ホームズパンジャケット		
※5	ターラードジャケット	※11	ターラードジャケット		買物中止
※6	ターラードジャケット	※12	サキソニージャケット		

モニター 拡大 商品説明 次ページ有り

表示終了

1 2

3 4

モニター番号

例 [ 拡大 → モニター番号 ]  
商品説明 → モニター番号

(j)

モニターによる商品選択		該当商品は 32 点あります		確	選
※1	カシミヤジャケット	※7	ターラードジャケット		操作説明
※2	ビジネスジャケット	※8	ツイードジャケット		選択内容
※3	ターラードジャケット	※9	ラムズウールジャケット		訂 正
※4	フランネルジャケット	※10	ホームズパンジャケット		
※5	ターラードジャケット	※11	ターラードジャケット		買物中止
※6	ターラードジャケット	※12	サキソニージャケット		

モニター 拡大 商品説明 次ページ有り

表示終了

1 2

3 4

モニター番号

例 [ 拡大 → モニター番号 ]  
商品説明 → モニター番号

(l)

モニターによる商品選択		該当商品は 12 点あります		確	選
※1	カシミヤジャケット	※12	カシミヤフランドジャケット		操作説明
※2	ターラードジャケット	※15	サキソニーターラード		選択内容
※3	ターラードジャケット	※19	グレンチェックジャケット		訂 正
※4	ターラードジャケット	※21	シルクウールジャケット		
※5	ターラードジャケット	※30	ヘリンボンジャケット		買物中止
※6	ホームズパンジャケット	※32	サキソニージャケット		

モニター 拡大 商品説明 次ページ無し

表示終了

1 2

3 4

モニター番号

例 [ 拡大 → モニター番号 ]  
商品説明 → モニター番号

第 14 図 (その 7)  
(m)

商品詳細	商品名	商品番号	商品点	商品種別
あなたが選んだ商品は以下の通りです。				
020501105	テラードジャケット			買物中止
購入希望の場合 <input type="checkbox"/> 買物をやめる場合 <input type="checkbox"/>				

第 14 図 (その 8)  
(o)

いろいろな機能を求める	商品名	商品点	商品種別
11 安全性大幅向上	16 紙面性大幅向上		操作説明
12 興味性大幅向上	17 快適性大幅向上		選択内容
13 ライブ再現性大幅向上	18 経済性大幅向上		訂正
14 利便性大幅向上	19 操作性大幅向上		買物中止
15 審美性大幅向上	20 耐久性大幅向上		

選択選択の場合 ☐ AND か ☐ OR → ☐ (複数) → ☐

図 1: A AND B (Venn diagram showing intersection of A and B)

図 2: A OR B (Venn diagram showing union of A and B)

(n)

好みの感覚がある	商品名	商品点	商品種別
1 ハイテク	6 レトロ		操作説明
2 ハイタッチ	7 トラディショナル		選択内容
3 ナチュラル	8 ナチュラル		訂正
4 ハイグレード	9 スポーティー		買物中止
5 ロマンティック	10 シンプル		

選択選択の場合 ☐ AND か ☐ OR → ☐ (複数) → ☐

図 1: A AND B (Venn diagram showing intersection of A and B)

図 2: A OR B (Venn diagram showing union of A and B)

(p)

モニターによる商品選択	該当商品は	点あります	商品名	商品点	商品種別
1 防汚ハイロー	7 カネカロン繊維性				操作説明
2 防毛ハイロー	8 三葉ガゼンネル花柄				選択内容
3 防汚ビッググループ	9 ニックワールビッググループ				訂正
4 防毛カット	10 旭化成リムソングード				買物中止
5 モノクログループ	11 旭化成リムソングードグループ				
6 兼し防毛カット	12 ウイルトトリビング				

モニター ☐ 表示終了

モニターにタッチすると商品が表示されます

検索選択 → ☐ モニター番号

図 1: 1 2

図 2: 3 4

モニター番号

第 14 図 (その 9)  
(q)

選択内容	商品名	商品点	商品種別
1 防汚	10 シンプル		
7 防毛	AND		
	17 快適性大幅向上		
	20 耐久性大幅向上		
8 商品分類	5 インテリア・装飾品		
	3 カーペット・敷物		
	2 イージーオーダーカーペット		

以上 3 項目について選択されています

元の画面に戻る

(r)



得意目的別に選ぶ	商品名	商品点	商品種別
1 結婚祝	7 結婚記念		操作説明
2 出産祝	8 長寿祝		選択内容
3 四旬・七五三	9 祝返し		訂正
4 入学・入学校	10 法事		買物中止
5 卒業祝			

選択選択の場合 ☐ AND か ☐ OR → ☐ (複数) → ☐



図 1: A AND B (Venn diagram showing intersection of A and B)

図 2: A OR B (Venn diagram showing union of A and B)

第 14 図 (その10)  
(5)

傾向別に選ぶ		商品数	点	備 考
1	同食化	5	情報化	操作説明
2	同食化	7	24時間化	選取内容
3	同食化	8	システム化	訂 正
4	小食化	9	軽薄短小化	
5	無選化	10	地球化	買切中止
次ページより				
複数選択の場合 AND か OR → 番号(複数) → 確認				前ページ
 				次ページ
				A N D
				O R

(1)

傾向別に選ぶ		商品数	点	備 考
1	同食化	5	情報化	操作説明
2	同食化	7	24時間化	選取内容
3	同食化	8	システム化	訂 正
4	小食化	9	軽薄短小化	
5	無選化	10	地球化	買切中止
次ページより				
複数選択の場合 AND か OR → 番号(複数) → 確認				前ページ
 				次ページ
				A N D
				O R